USER'S MANUAL

セキュアストレージブロードバンドルータ

BRC-14VG

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
- 本製品パッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合があります。通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

- 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

本マニュアルにおける記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

User's Manual　Version 2　　No.PMN-06-01-TY-BRC-14VG

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。



警告

■ 設置及び保管に関して

・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 取り扱いに関して

・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。

・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

※ Microsoft® Windows　は、米国Microsoft®　Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
※ Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system およびMicrosoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
※ Windows®　2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
※ Windows®　Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
※ Windows®　98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
※ Netscape®、Netscape Navigator® およびNetscape® Communicator は、米国Netscape® Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Macintosh®、Mac®、Mac OS® は、米国Apple Computer,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
また、Mac OS® 9.0、9.1、9.2をMac OS® 9.xと、Mac OS® 8.5、8.6をMac OS® 8.xと、表記しています。
※ Adobe® Acrobat® Reader™ は、Adobe® Systems Incorporated （アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ JavaScript®　は、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
※ Yahoo!®、Yahoo!® BBは米国Yahoo!® Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ その他、本文中での記載の会社名および商品名およびロゴは各社の商標または登録商標です。
※ 付属品のCD‐ROM は日本語版OS 以外の動作保証はしていません。
※ 付属品のCD‐ROM はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

目次

第1章

はじめに

1 概要

本製品はADSL、FTTHおよびCATV（ケーブルTV）接続を使った高速インターネット接続に対応し、ハードウェアVPN機能を搭載したブロードバンドルータです。
CPUにはインテル® 社製高性能ネットワークプロセッサIXP422-266MHzを採用し、従来のルータに比べ格段に速い処理能力を有しています。
堅牢なセキュリティを保つ為のVPNゲートウェイ、USBストレージを接続しNAS（Network Attached Storage）を構築、専用USBカメラを利用した簡単リアルタイム映像配信等の多彩なネットワーク構築が可能です。

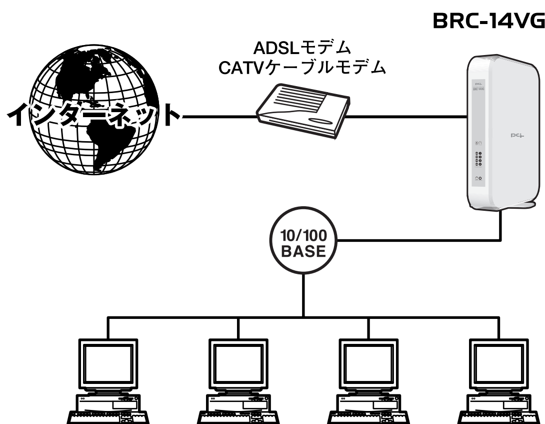


図1-1　接続図



注意

プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとの契約内容についてご確認ください。

2 特長

● VRRP機能

利用している回線が何らかの事由により切断された際に、別回線へ自動的に切り替えが行われます。これにより、ビジネスシーンで安定した冗長性のある通信を可能とします。

● IPv6ブリッジ対応

NTT東日本「Flet's Net(フレッツ・ドットネット)」などのIPv6サービスを、配線を変更することなくご利用頂けます。

● 無料DNSサービス対応

本製品では、複数の無料ダイナミックDNSサービスに対応しています。ダイナミックDNSの設定を行うことで、WAN側のIPアドレスをダイナミックDNSサーバに一定間隔で通知します。これにより、回線切断や再接続でWAN側のIPアドレスが変わってしまったときでも、固定のホスト名が利用できます。
日本語:DinamicDO!、MyDNS 英語:DynDNS.org

● IXP422-266MHz搭載

インテル® 社製高性能ネットワークプロセッサIXP422-266MHzによる高速ルーティングを可能にします。

● ハードウエアVPN機能

IPSec、PPTPサーバ機能、PPTPクライアント機能に対応し、IPSec（3DES）使用時には、ハードウェアVPN機能により約45Mbpsの高速VPNを実現します。

● USBポート内蔵

専用USBカメラやUSBストレージに対応し、多彩な拡張性を誇ります。

● PPPoEクライアント機能

Bフレッツ、フレッツADSLに対応し、インターネット接続時にフレッツ接続ツール等を使用せずに簡単にインターネットに接続できます。

● PPPoEマルチセッション機能

複数のプロバイダを接続先として登録し、同時に接続することができます。また、複数の接続先を登録した場合、デフォルトゲートウェイの変更や接続先の優先順位を変更することができます。

● Unnumbered（複数グローバルIPアドレス）機能
ISP事業者提供の複数グローバルIPアドレスサービスに対応し、本製品のLAN側にグローバルアドレスのホストとプライベートアドレスのホストを共存させることができます。また、特別な設定無しでプライベートアドレスのホストからグローバルアドレスのホストへ通信を行うことができます。

● DHCP、固定IP接続機能
本製品はPPPoE以外のサービスに対応しています。PPPoE以外の自動取得、固定IPアドレス、Unnumberedを設定することができます。

● LAN側IPアドレス設定
本製品の初期状態のLAN側IPアドレスは192.168.1.1になります。お使いのLAN環境に合わせてLAN側のIPアドレスを変更することができます。

● NAPT機能
複数のプライベートアドレスを１つのグローバルアドレスに変換します。この機能によりLAN側に複数のパソコンがある場合でも、簡単にインターネットに接続できます。また、NAPT機能は無効にすることもできます。

● DHCPサーバ機能
LAN側のパソコンやネットワーク機器に動的にIPアドレスを割り当てることができます。また、割り当てるIPアドレスの範囲、割り当て時間を自由に設定でき、特定の機器にだけ常に同じIPアドレスが割り当てられるよう設定することもできます。

● 簡易DNSサーバ機能
LAN側のパソコンやネットワーク機器のホスト名とIPアドレスを管理します。

● ルーティング機能
ダイナミックルーティングのRIPv1/RIPv2に対応し、動的に経路情報を設定することができます。

● UPｎP
Universal Plug and Play Internet Gateway Device v1.0に準拠し、Windows® Messenger Ver4.7やMSN® Messenger Ver6.2などのUPnPアプリケーションを簡単に利用することができます。

● SPI（ステートフル・パケット・インスペクション）機能

LAN側から送信したデータのセッションログを保存し、WAN側から送信されたデータと照らし合わせ矛盾がある場合はそのパケットを遮断し、不正なパケットや攻撃を防ぎます。

● セキュリティレベル機能

本製品は、簡単にセキュリティ機能を設定するための 3 段階のレベルを用意しています。必要に応じて設定をカスタマイズでき、LANからインターネット、インターネットからLANへのセキュリティを柔軟に設定することができます。

● パケットフィルタリング機能

本製品のパケットフィルタリング機能は、本製品が受信したパケット、送信したパケットに対して、予め設定してあるルールに従って、パケットの通過、遮断を行います。

フィルタリングルールは各インターフェースごとにIPアドレス、ポート番号、プロトコルが可能で、作成したフィルタリングルールはユーザ定義サービスとして保存が可能です。

● リモートアクセス機能

本製品はセキュリティを保つために、WAN側からの設定画面のアクセスは制限されています。遠隔地から本製品の設定を変更する場合は、リモートアクセス機能を利用することで、WAN側から設定画面にアクセスができ、本製品の保守、管理を行うことができます。

また、オプション機能使用時に必要になるポートの開放を、リモートアクセス機能の設定欄から簡単に行うことができます。

● サイトフィルタ

LAN側のパソコンから観覧を禁止したいWEBサイトを登録することで、特定のWEBサイトへのアクセスを制限することができます。

● セキュリティログ機能

本製品は、LAN側からインターネット、インターネットからLAN側、設定画面へのアクセスのログを、許可した接続、拒否した接続ごとに保存することができます。保存したログ内容は、セキュリティ設定画面から簡単に確認することができます。

● E-Mail通知機能

本製品に通知先のE-Mailを登録することで、セキュリティやシステムにイベントが発生した時に自動的に通知することが可能です。

● Syslog機能

本製品はセキュリティ情報、システム情報を予め設定してあるSyslogサーバにログ情報を送信することが可能です。

● ローカルサーバ機能

WAN側からアクセスがあった時に、予め設定してあるLAN側の特定のパソコンへパケットを転送することで、LAN側に設定してあるサーバやサービスをWAN側に公開することが可能です。

● バーチャルコンピュータ

バーチャルコンピュータ機能を使用すると、LAN側にある1台のパソコンをWAN側に公開することができます。ローカルサーバ機能で、設定するためのポート情報が分からない場合、1台のパソコンに全てのサービスを設定しWAN側に公開したい場合などに利用できます。

● カメラサーバ

本製品別売りのUSBカメラを利用した映像配信や携帯電話からの静止画の閲覧が可能です。

● プリントサーバ

本製品のUSBポートにUSB対応プリンタを接続することで、プリントサーバとして機能させることが可能です。(一部対応できないプリンタもあります。)
この機能は、Windows搭載したコンピュータのみ使用できます。

● USBストレージ

本製品のUSBポートにUSBハードディスクを接続してNASとして使用することが可能です。
この機能は、Windows搭載したコンピュータのみ使用できます。

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

●BRC-14VG本体
●ACアダプタ
●ショートコード
●LANケーブル（UTPストレート1m）
●CD-ROM（マニュアル）
●らくらく！かんたん設定ガイド
●eTrustのご案内
●安全に関する説明書
●保証書

付属品が足りないときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

■本体前面

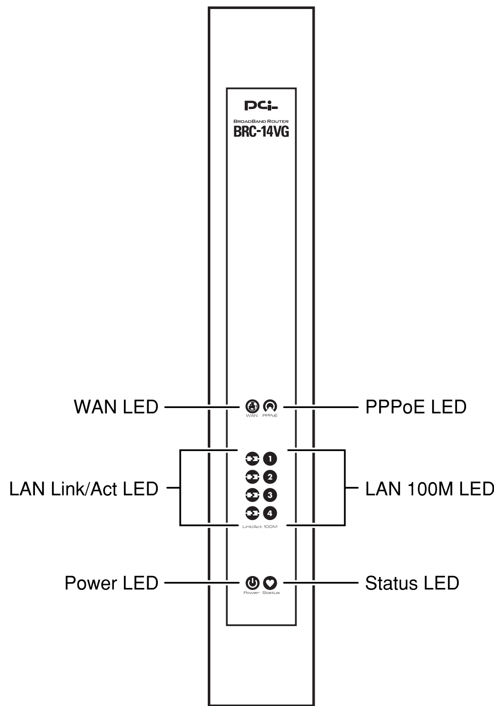


図1-2 BRC-14VG 本体前面

【LED表示】

Status LED	緑 橙	点灯	正常に起動してる状態です。
		点滅	起動準備中です。
		消灯	起動していません。
Power LED	緑	点灯	電源が投入されています。
		消灯	電源が切れています。
LAN 100 LED	緑	点灯	LANポートに100BASE-TXの機器が接続されています。
		消灯	LANポートに10BASE-Tの機器が接続されている、または何も接続されていません。
Link/Act LED	緑	点灯	LANポートでの接続が確立されています。
		点滅	LANポートでデータを送受信しています。
		消灯	LANポートでの接続が確立されていません。
WAN LED	緑	点灯	WANポートでの接続が確立されています。
		点滅	WANポートでデータを送受信しています。
		消灯	WANポートでの接続が確立されていません。
PPPoE LED	緑	点灯	WANポートでPPPoE接続が確立されています。
		消灯	WANポートでの接続が確立されていません。

■本体背面

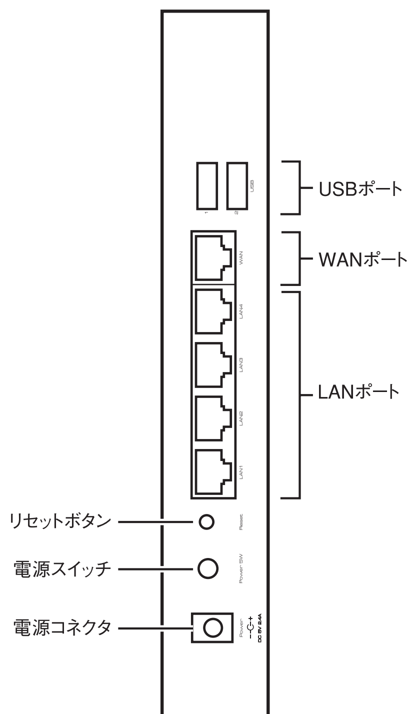


図1-3 BRC-14VG 本体背面

■本体裏面

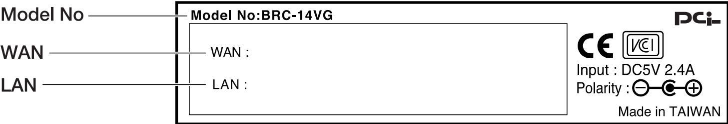


図1-4 BRC-14VG 本体裏面

名称	詳細
Model No	製品型番です。
WAN	本製品のWAN側のMACアドレスです。
LAN	本製品のLAN側のMACアドレスです。

5 対応機器

■対応パソコン

●Windows® XP/2000/Me/98SEを搭載し、LANポートを装備したパソコン
●MacOS® X/9.xを搭載し、LANポートを装備したパソコン

■ネットワーク機器

本製品では以下のネットワーク機器が必要になります。
●LANケーブル（本製品に接続するコンピュータの台数分）

■WEB設定画面について

本製品はWEBブラウザで設定を行います。
パソコンに以下のWEBブラウザがインストールされている必要があります。また、WEBブラウザでJavaScript® が使用できるかどうか、設定を確認してください。

●Windows® の場合は、Microsoft® Internet Explorer5.0以上またはNetScape Navigator® 6.0以上

●MacOSの場合は、Microsoft® Internet Explorer5.0以上またはNetScape Navigator® 6.0以上

6 設定の初期化

初期化とは、本製品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことです。本製品がうまく動作しないときや、間違った設定をしてしまい設定画面にアクセスできなくなったとき、またIPアドレスやパスワードを忘れてしまったときには、購入時の状態に戻すことができます。本製品の設定画面からも初期化を行えます。設定画面からの初期化の方法は、機能詳細編の「本製品の初期化」を参照してください。

本製品にアクセスができないときは、下記の方法で初期化を行ってください。



注意

- ***いったん初期化すると、それまでに設定された値はすべて消去され、購入時の設定に戻ります。***
- ***初期化を実行する前に予め本製品に接続しているケーブルをポートからはずしておくことをお勧めします。***
- ***初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。***

■本製品の初期化手順

1. 本製品の電源スイッチを押し、電源を切ります。PowerLEDが消灯したことを確認します。
2. 本製品背面のリセットボタンを押しながら、電源スイッチを押して電源を入れます。
3. StatusLEDが点滅します。約10秒間リセットボタンを押し続けてください。
4. StatusLEDの点滅が終わったら初期化は完了です。

本製品は、初期化完了後再起動します。2分程度経過後、再設定をしてください。

ハードウェアの接続

本章では、本製品とADSL/ケーブルモデム等、パソコンとの接続手順について説明します

1 設置場所について

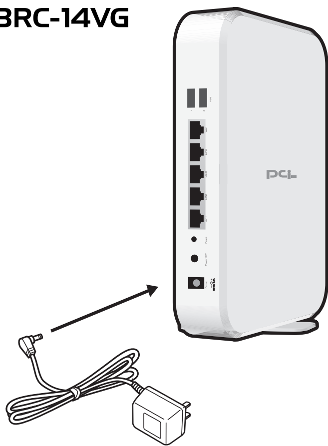
本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りください。

●湿気の多い場所には設置しないでください。
●チリやほこりの多い場所には設置しないでください。
●直射日光の当たる場所や温度の高い場所には設置しないでください
●内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください

2 設置する

■電源アダプタのコネクタを差し込む

本製品の電源アダプタ接続端子に電源アダプタのコンセントを差し込んでください。
電源アダプタは、まだ電源コンセントに差し込まないでください。

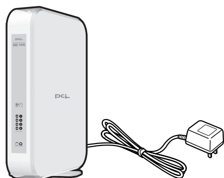


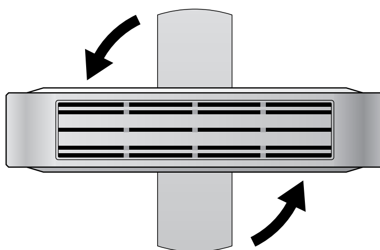
⚠注意

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

■縦置きする

本製品は、机の上などの平らな場所に設置して使用してください。





上から見た図

■横置きする

図のように本体の平らな面が下になるように設置してください。



平らな面

3 ADSLモデム/Bフレッツ用回線終端装置/ケーブルモデムとの接続

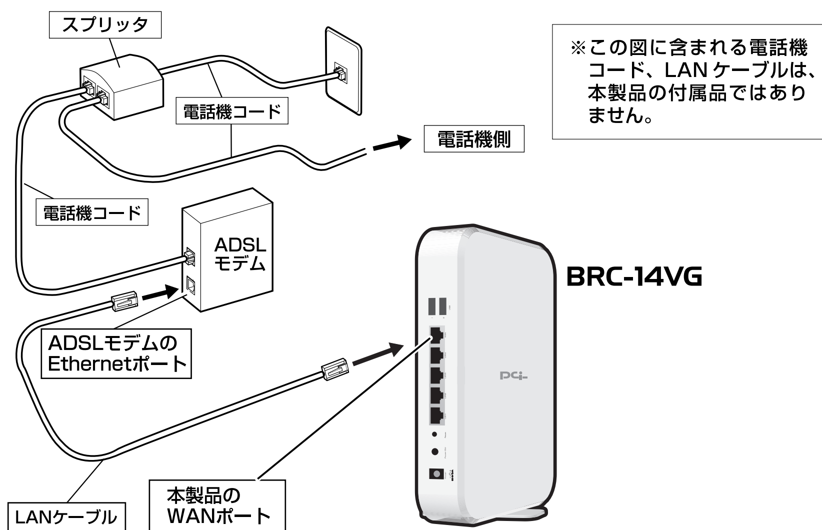
■接続前の準備

●ADSLモデム/Bフレッツ用回線終端装置/ケーブルモデムの電源は切ってください。電源スイッチがないタイプはコンセントからACアダプタを抜いてください。

●本製品付属のLANケーブルをご用意ください。

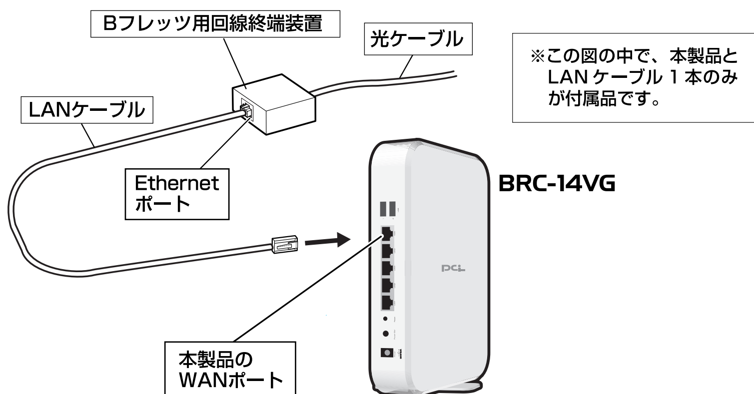
■ADSLモデムとの接続

本製品のWANポートと、ADSLモデムのEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。



■Bフレッツ用回線終端装置との接続

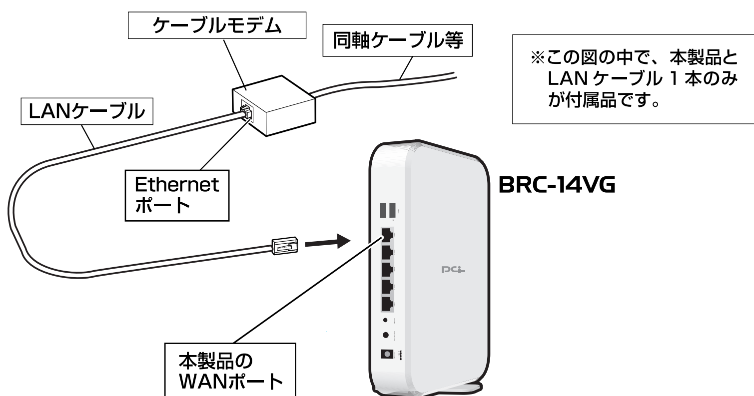
本製品のWANポートと、”Bフレッツ”用回線終端装置のEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。



Bフレッツ用回線終端装置との接続

■ケーブルモデムとの接続

本製品のWANポートと、ケーブルモデムのEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。



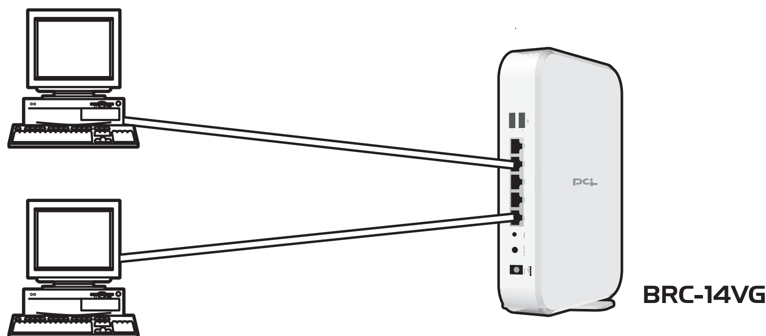
ケーブルモデムとの接続

4 パソコンとの接続

本製品のLAN側ポートは結線のタイプを自動認識するAuto MDI/MDI-Xに対応しています。
接続するパソコンの数だけLANケーブルをご用意ください。

1. LANケーブルの一端を本製品のLAN側ポートに接続します。

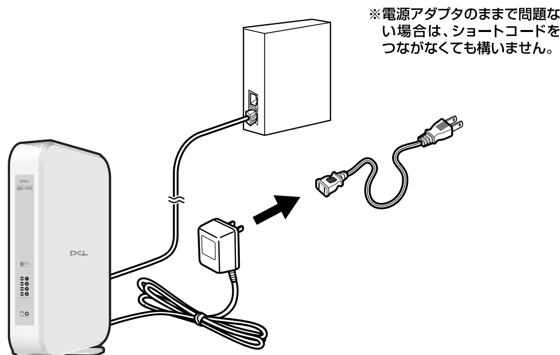
2. LANケーブルのもう一端をコンピュータのLANポートに差し込みます。
このとき、ケーブルのコネクタがポートの奥までしっかりさっせってるか確認してください。



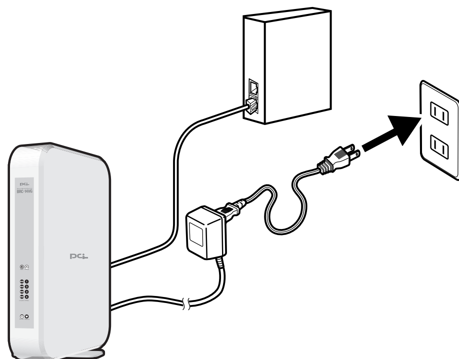
5 電源の接続

電源アダプタを電源コンセントに差し込んで、電源をONにします。その後正常に通信が行われているか、ランプを見て確認します。

1. 電源アダプタのままでは電源コンセントに差し込みにくい場合、電源アダプタに付属のショートコードをつなぎます。



2. 電源アダプタまたはショートコードを電源コンセントに差し込みます。



3. 電源がONになります。本製品前面のランプを確認します。

ランプ	状態
Powerランプ	点灯します。
Statusランプ	電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んだときにオレンジ色で点滅し、本製品の起動後は緑色で点灯します。
WANランプ	点灯します。

パソコンの設定

本章では、インターネットに接続するために、パソコンのネットワーク設定を確認し必要に応じて設定を変更します。なお、本製品に接続する全てのパソコンでこの設定を行う必要があります。設定方法はOSによって異なります。お使いのOSに該当するページをお読みください。

■パソコンのネットワーク設定を行う

○ Windows® XPの場合⇒30ページ

○ Windows® 2000の場合⇒32ページ

○ Windows® Me/98SEの場合⇒34ページ

○ MacOS® Xの場合⇒37ページ

○ MacOS® 9.Xの場合⇒38ページ

■本製品とパソコンの接続を確認する

○ Windows® XPの場合⇒39ページ

○ Windows® 2000の場合⇒41ページ

○ Windows® Me/98SEの場合⇒42ページ

○ MacOS® Xの場合⇒44ページ

○ MacOS® 9.xの場合⇒45ページ

1 パソコンのネットワーク接続を行う

■Windows® XPの場合



注意

●この作業を行うには「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。
●以下の操作手順および表示画面はWindows® XPの初期状態の場合です。Windows® XPの設定によっては異なる場合があります。

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

2. ［ネットワークとインターネット接続］の画面が表示されます。
［ネットワーク接続］をクリックします。



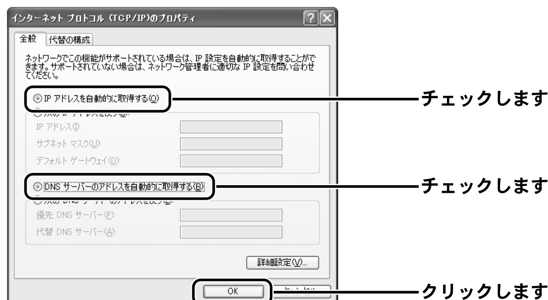
3. ［ネットワーク接続］の画面が表示されます。
［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。



4. [ローカルエリア接続のプロパティ] の画面が表示されます。
[インターネットプロトコル（TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



5. [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]の画面が表示されます。
[IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバのアドレスを自動的に取得する] にチェックします。[OK] ボタンをクリックします。



6. [ローカルエリア接続のプロパティ] の画面に戻ります。
[OK] ボタンをクリックします。



■Windows® 2000の場合



注意

この作業を行うには［Administrator］または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

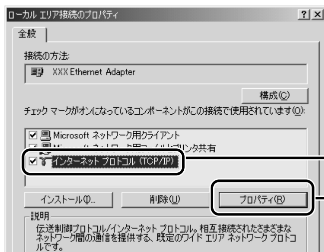
2. ［コントロールパネル］の画面が表示されます。
［ネットワークとダイアルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。



3. ［ネットワークとダイヤルアップ接続］の画面が表示されます。
［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。



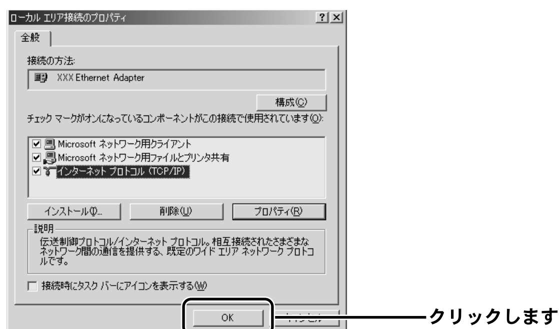
4. ［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面が表示されます。
［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。



5. [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]の画面が表示されます。［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバのアドレスを自動的に取得する］にチェックします。［OK］ボタンをクリックします。



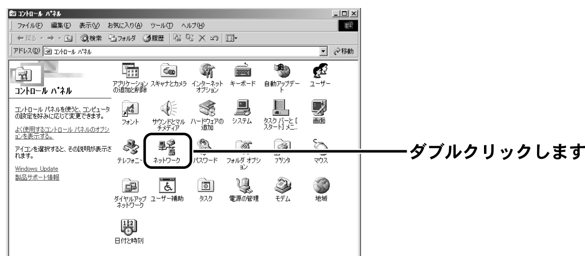
6. [ローカルエリア接続のプロパティ］の画面に戻ります。［OK］ボタンをクリックします。



■Windows® Me/98SEの場合

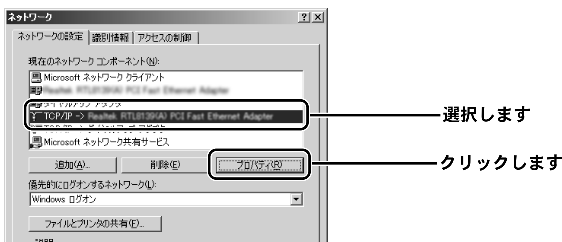
1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2. ［コントロールパネル］の画面が表示されます。
［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

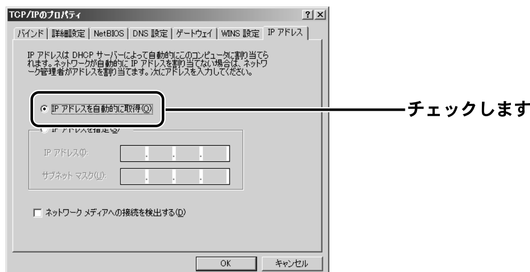


※Windows® Meで［ネットワーク］アイコンが表示されない場合は、コントロールパネル左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックしてください。

3. ［ネットワーク］の画面が表示されます。
［現在のネットワークコンポーネント］欄から［TCP/IP －>お使いのLANカード（またはLANボード）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。



4. [TCP/IPのプロパティ] の画面が表示されます。
[IPアドレス] タブをクリックし、[IPアドレスを自動的に取得] をチェックします。



5. [ゲートウェイ]タブをクリックし、[インストールされているゲートウェイ] 欄に何も設定されてないのを確認します。




注意

IPアドレスが表示されてる場合は、表示されてる数字を選択し、右の [削除] ボタンをクリックします。

6. [DNS設定] タブをクリックし、[DNSを使わない] をチェックします。
[OK] ボタンをクリックします。



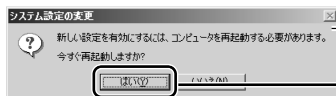
7. ［ネットワーク］の画面に戻ります。
［OK］ボタンをクリックします。



［ネットワーク］ダイアログに戻ります。

クリックします

8. 再起動を要求するメッセージが表示されましたら、［はい］ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



再起動を促すメッセージが表示されます。

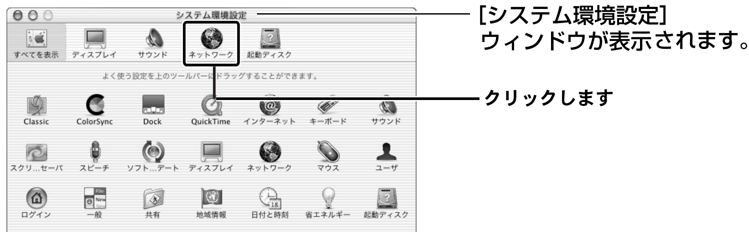
クリックします

■Mac® OS Xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

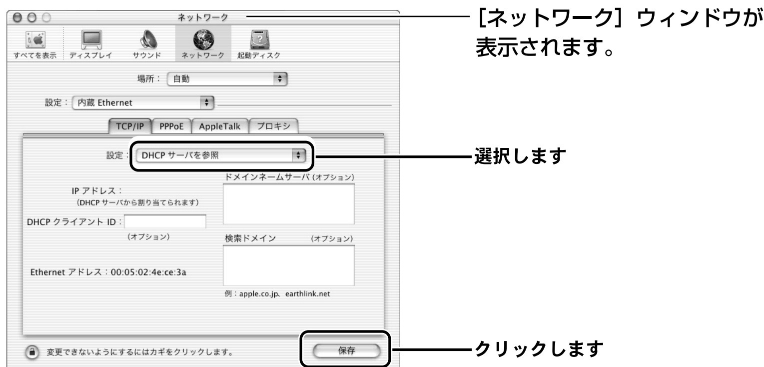
2. ［システム環境設定］の画面が表示されます。
［ネットワーク］アイコンをクリックします。



※ここに［ネットワーク］アイコンが表示されないときは、［すべてを表示］アイコンをクリックします。

3. ［ネットワーク］の画面が表示されます。
［設定］欄から［(内蔵) Ethernet］を選択します。

4. ［TCP/IP］タブをクリックし、［設定］欄から［DHCPサーバを参照］を選択します。
［保存］ボタンをクリックします。



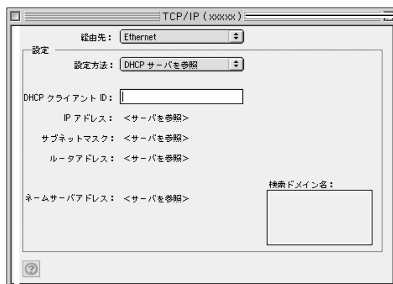
※［DHCPサーバを参照］が表示されていないときは、［PPPoE］タブをクリックし、「PPPoEを使って接続する」をオフにします。

■Mac® OS9.xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択します。

2. ［TCP/IP］の画面が表示されます。
［経由先］欄から［Ethernet］を選択し、［設定方法］欄から［DHCPサーバを参照］を選択します。



3. クローズボックスをクリックし、画面を閉じます。
確認ウィンドウが表示されたら、［保存］ボタンをクリックします。

2 本製品とパソコンとの接続を確認する

ここでは、パソコンに正しいIPアドレスが割り当てられているか確認します。



注意

●本製品のDHCPサーバ機能は、初期状態で有効に設定されているため、パソコンにIPアドレスが自動的に割り当てられます。
●本製品のLAN側IPアドレスは、初期状態では「192.168.1.1」に設定されています。

■Windows® XPの場合

1. [スタート] − [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] をダブルクリックします。

2. [ネットワークとインターネット接続] の画面が表示されます。
[ネットワーク接続] をクリックします。



[ネットワークとインターネット接続] ウィンドが表示されます。

クリックします

3.［ネットワーク接続］の画面が表示されます。
［ローカルエリア接続］を右クリックし、［状態］をクリックします。



［ネットワーク接続］ウィンドウが表示されます。

右クリックします

4.［ローカルエリア接続の状態］の画面が表示されます。
［サポート］タブをクリックし、［IPアドレス］欄を確認します。
IPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）



［ローカルエリア接続の状態］ダイアログが表示されます。



注意

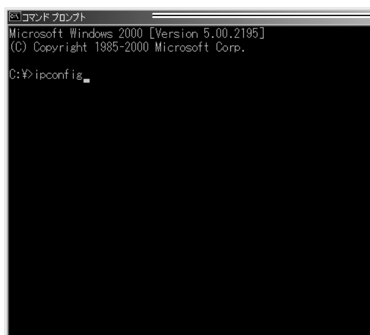
別のIPアドレスが表示されたときは、［修復］ボタンをクリックしてください。

5.［閉じる］ボタンをクリックします。

■Windows ® 2000の場合

1. ［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。

2. ［コマンドプロンプト］の画面が表示されます。
［C:¥>］に続けて、［ipconfig］と入力し<Enter>キーを押します。



［コマンドプロンプト］の画面が表示されます。

3. 画面に［Ethernet adapterローカル エリア接続：］の情報が表示されます。
［IP Address］の項目でIPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）



同じ画面に、［Ethernet adapter ローカル エリア接続：］の情報が表示されます。



注意

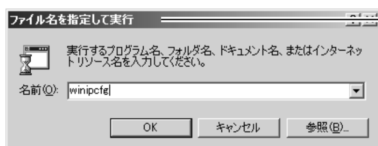
別のIPアドレスが表示されたときは、［C:¥>］に続けて［ipconfig/renew］と入力し、［Enter］キーを押します。

4. コマンドプロンプトの画面を閉じます。

■Windows® Me/98SEの場合

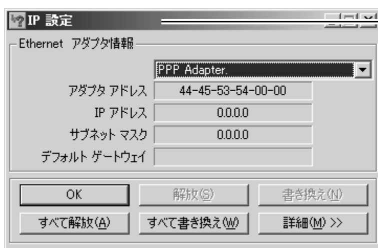
1. [スタート] − [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

2. [ファイル名を指定して実行] の画面が表示されます。
[名前] 欄に [winipcfg] と入力し、[OK] ボタンをクリックします。



[ファイル名を指定して実行] ウィンドウが表示されます。

3. [IP設定] の画面が表示されます。
[アダプタ情報] 欄からお使いのLANカード/ボードを選択します。



[IP 設定] ウィンドウが表示されます。

4. IPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。(xは1以外の任意の数字です)



※別のIPアドレスが表示された場合は、[解放] ボタンをクリックし、[書き換え] ボタンをクリックしてください。

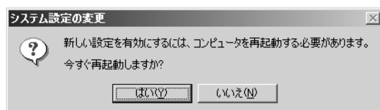


注意

別のIPアドレスが表示されたときは、［解放］ボタンをクリックし、［書き換え］ボタンをクリックします。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

6. 再起動を要求するメッセージが表示されたときは、［はい］ボタンをクリックし再起動します。

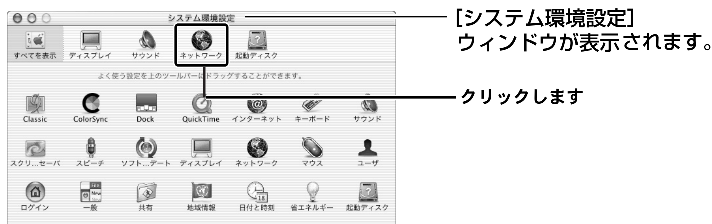


■Mac® OS Xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

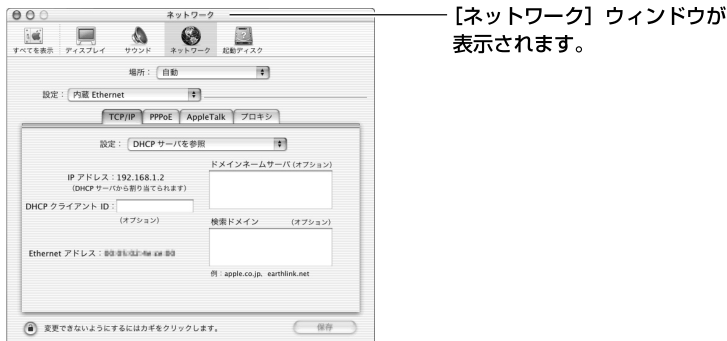
1. アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

2. ［システム環境設定］画面が表示されます。
［ネットワーク］アイコンをクリックします。



※ここに［ネットワーク］アイコンが表示されない場合は、［すべてを表示］アイコンをクリックします。

3. ［ネットワーク］画面が表示されます。
［設定］欄から［（内蔵）Ethernet］を選択します。［TCP/IP］タブをクリックし、［IPアドレス］欄に表示されてるIPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）



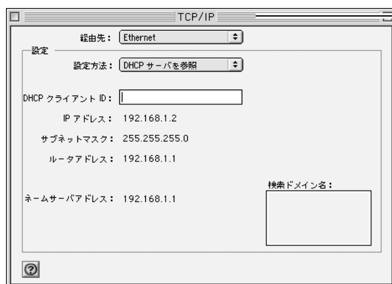
※別のIPアドレスが表示されたときは、お使いのパソコンを再起動してください。
正しいIPアドレスが自動取得されます。

■Mac® OS 9.xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択します。

2. ［TCP/IP］の画面が表示されます。
［経由先］欄から［Ethernet］を選択し、［IPアドレス］欄に表示されてるIPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）



［TCP/IP］ウィンドウが表示されます。

※別のIPアドレスが表示されたときは、お使いのパソコンを再起動してください。
正しいIPアドレスが自動取得されます。

インターネットへの接続

本

製品の設定は、WEBブラウザから「設定ページ」を開いて行います。
初めてインターネットに接続するときは、設定ページの「簡単設定ウィザード」を使用します。

1 インターネット接続方法の確認

■簡単設定ウィザードを使う前にご確認ください

●"フレッツ・ADSL"または"Bフレッツ"等によるPPPoE接続では、どちらもPPPoEプロトコルを使います。そのため、簡単設定ウィザードでの操作方法は同じです。設定を開始する前に、以下の項目をチェックしてください。

●プロバイダから通知された情報はお手元にありますか？
設定には、プロバイダから通知される以下の情報が必要です。

・接続ユーザ名
・接続パスワード
・DNSサーバのIPアドレス（プロバイダから通知された場合のみ）
・IPアドレス（固定IPアドレスの場合のみ）
・サブネットマスク（固定IPアドレスの場合のみ）
・デフォルトゲートウェイのIPアドレス（固定IPアドレスの場合のみ）

※プロバイダによって、上記の呼び方が異なるときがあります。

（例）接続ユーザ名　→ユーザID、アカウント、ユーザ名

ご不明なときはプロバイダにお問い合わせください

●フレッツ接続ツールを起動していませんか？
設定を行うパソコンで「フレッツ接続ツール」が起動していないことを確認してください。起動しているときは、終了してください。

●本製品は"フレッツ・ADSL"または"Bフレッツ"以外のDHCPを利用した接続にも対応しています。

●固定IPアドレスで接続する場合は、以下の情報が必要です。

・IPアドレス
・サブネットマスク
・デフォルトゲートウェイのIPアドレス
・DNSサーバのIPアドレス

■設定ページを開く

ここでは、本製品の設定ページを開くための方法について説明します。

1. 本製品につないだパソコンでWEBブラウザを起動し、アドレスを入力する欄に「http://192.168.1.1/」または「http://brc14vg.home/」と入力します。

2. 本製品の最初にログオンするための画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。



3. [ログイン設定] 画面が表示されます。
設定ページにログインするための、ログインユーザ名とログインパスワードを入力してください。

ログイン設定

BRC-14VG のログインユーザ名とログインパスワードを設定してください。

ログインユーザ名:	admin
新しいログインパスワード:	
新しいログインパスワードの確認:	

✓ OK

入力します

※2回目以降は [ログイン] 画面が表示されます。

[ログインユーザ名]
任意のログイン名を入力します。半角英数字を使用し、1～64文字の範囲で入力してください。

[新しいログインパスワード]
任意のパスワードを入力します。半角英数字を使用し、1～64文字の範囲で入力してください。入力したパスワードは「＊」または「●」で表示されます。

[新しいログインパスワードの確認]
確認のため再度パスワードを入力してください。

4. [OK] ボタンをクリックします。

ログイン設定

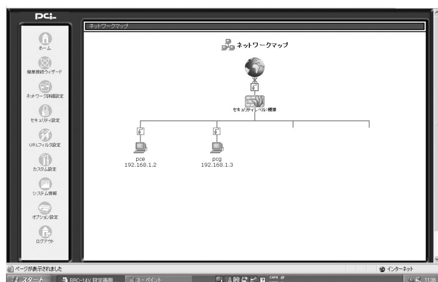
BRC-14VG のログインユーザ名とログインパスワードを設定してください。

ログインユーザ名:	admin
新しいログインパスワード:	••••••••
新しいログインパスワードの確認:	••••••••

✓ OK

クリックします

5. 本製品の設定画面が表示されます。



■簡単設定ウィザードで設定する

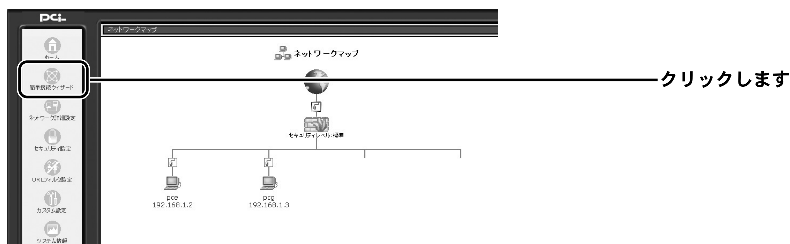
ここでは、簡単設定ウィザードを使用して［PPPoE接続］または［PPPoE以外の接続］でインターネットに接続する方法について説明します。
本製品の簡単設定ウィザードを使用して以下の設定が可能です。お使いの接続方法をご確認のうえ、該当するページをご参照ください。

●PPPoE接続で設定する場合 ······························51ページ
●PPPoE接続でIPアドレスを固定で設定する場合 ················57ページ
●PPPoE以外の自動取得で設定する場合 ······················62ページ
●PPPoE以外でIPアドレスを固定で設定する場合 ················67ページ

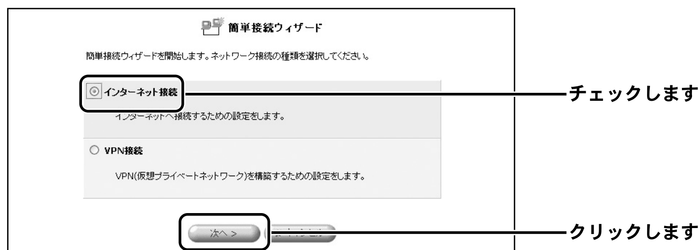
2 PPPoE接続で設定する場合

ここでは、PPPoE接続で設定する方法について説明します。
事前にプロバイダから通知された情報をご用意ください。

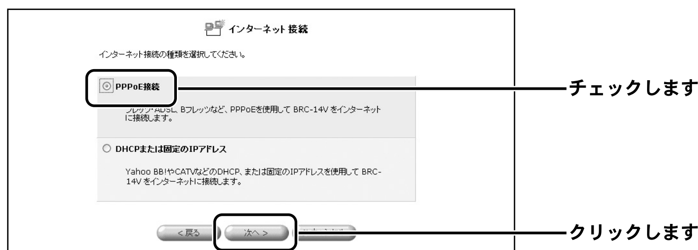
1. サイドバーから［簡単設定ウィザード］アイコンをクリックします。



2. ［簡単設定ウィザード］の画面が表示されます。
［インターネット接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。



3. ［インターネット接続］の画面が表示されます。
［PPPoE接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。



4. [PPPoE接続] の画面が表示されます。
プロバイダから通知された情報をもとに、[接続ユーザ名] と [接続パスワード] を入力します。

PPPoE接続
PPPoE接続に必要な設定をしてください。
接続ユーザ名 (大文字/小文字に注意)
接続パスワード:
< 戻る　次へ >　キャンセル
入力します

[接続ユーザ名]
プロバイダから指定された接続ユーザ名を、半角英数字で入力します。
「brc@planex.co.jp」のように、すべて入力してください。

[接続パスワード]
プロバイダから指定された接続パスワードを、半角英数字で入力します。大文字、小文字を正しく入力してください。入力された接続パスワードは「＊」または「●」で表示されます。

5. [次へ] ボタンをクリックします。

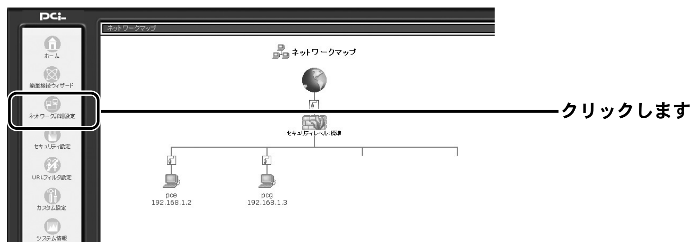
PPPoE接続
PPPoE接続に必要な設定をしてください。
接続ユーザ名 (大文字/小文字に注意) brc@planex.co.jp
接続パスワード: ••••••••
< 戻る　次へ >
クリックします

6. [設定完了] の画面が表示されます。
設定内容を確認して、[完了] ボタンをクリックします。

設定完了
次の新しい接続を作成するための準備が完了しました。
- PPPoE接続
- ユーザ名: brc@planex.co.jp

完了 ボタンをクリックすると新しい接続がネットワーク詳細設定のページに作成されます。
キャンセル ボタンをクリックすると新しい接続を作成せずにウィザードを終了します。
< 戻る　✓ 完了
クリックします

7. ［ネットワークマップ］の画面が表示されます。
PPPoEによる接続の設定が作成されたことを確認します。サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



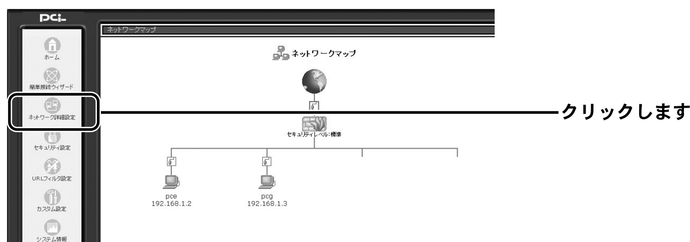
8. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄に［WAN PPPoE］接続が表示されているのを確認します。



9. プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されている場合は、DNSサーバの設定を行う必要があります。

※プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、次の操作（①～⑨）は不要です。

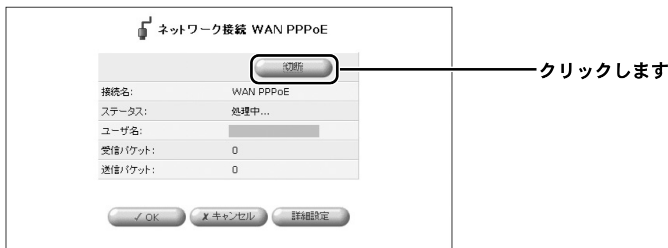
①サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



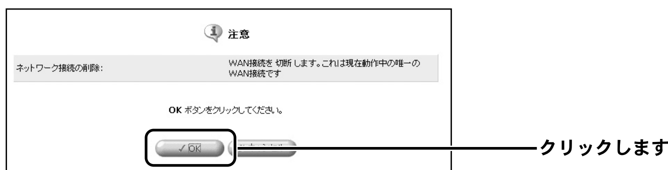
②［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［WAN PPPoE］の［修正］ボタンをクリックします。



③［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［切断］ボタンをクリックし、インターネットへの接続を切断します。



④インターネットの接続を切断する確認の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。

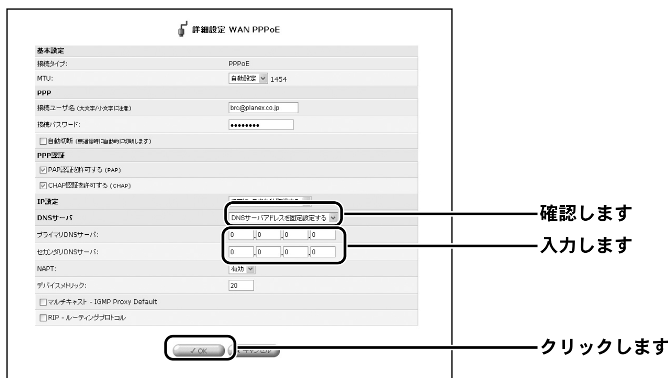


4 インターネットへの接続

⑤［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［ステータス］欄が［無効］に切り替わったことを確認し、［詳細設定］ボタンをクリックします。



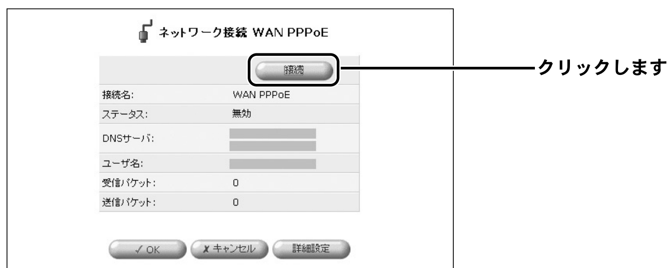
⑥［詳細設定 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［DNSサーバ］欄から［DNSサーバアドレスを固定設定する］を選択し、［プライマリDNSサーバ］と［セカンダリDNSサーバ］にプロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。［OK］ボタンをクリックします。



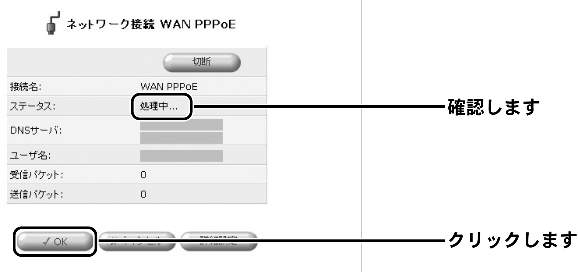
※プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスが1つの場合は、［プライマリDNSサーバ］にのみ入力してください。

4
インターネットへの接続

⑦［ネットワーク接続　WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［接続］ボタンをクリックします。



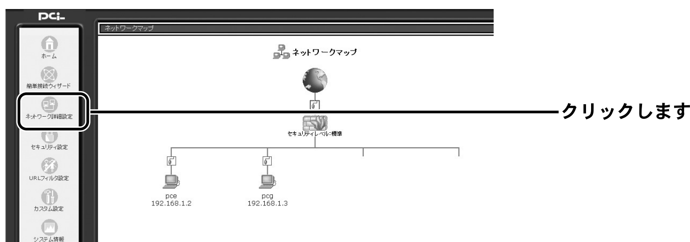
⑧［ステータス］欄が［処理中］に切り替わったことを確認してください。
［OK］ボタンをクリックします。



⑨以上で設定は終了です。

3 PPPoE接続でIPアドレスを固定で設定する場合

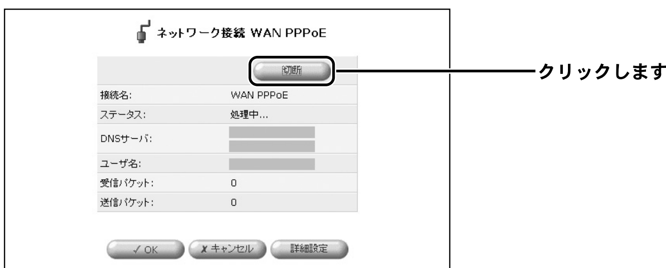
1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄から［WAN PPPoE］の［修正］ボタンをクリックします。

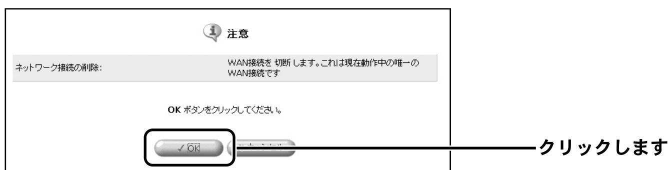


3. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［切断］ボタンをクリックし、インターネットへの接続を切断します。

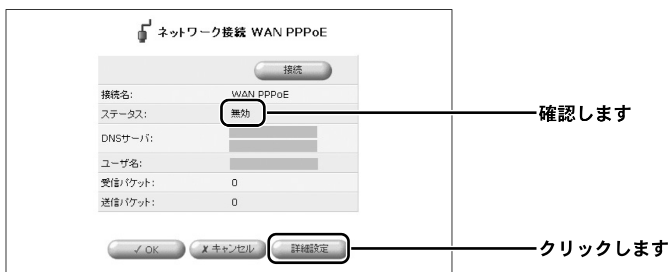


4 インターネットへの接続

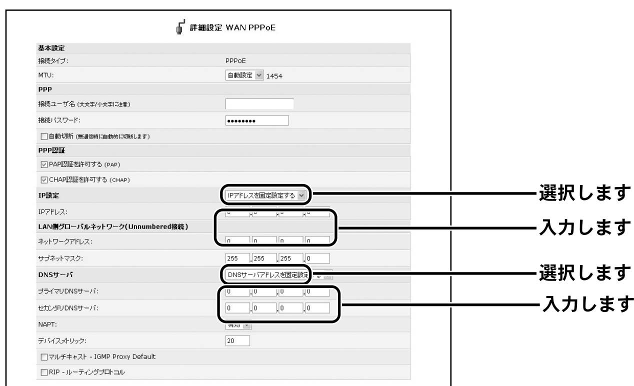
4. インターネットの接続を切断する確認の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。



5. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［ステータス］欄が［無効］に切り替わったことを確認し、［詳細設定］ボタンをクリックします。



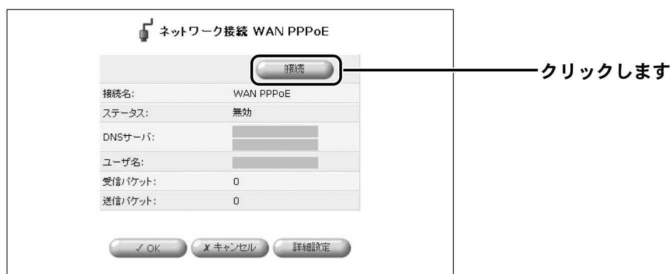
6. ［詳細設定　WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［IP設定］欄から［IPアドレスを固定設定する］を選択し、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。次に［DNSサーバ］欄から［DNSサーバを固定設定する］を選択し、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。



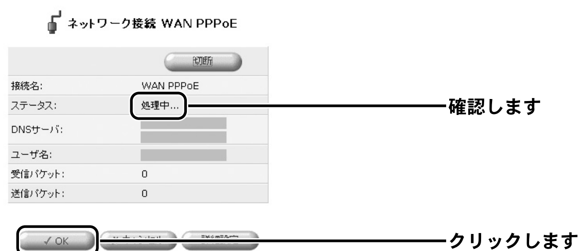
7. ［OK］ボタンをクリックします。



8. ［ネットワーク接続　WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［接続］ボタンをクリックします。



9. ［ステータス］欄が［処理中］に切り替わったことを確認してください。
［OK］ボタンをクリックします。

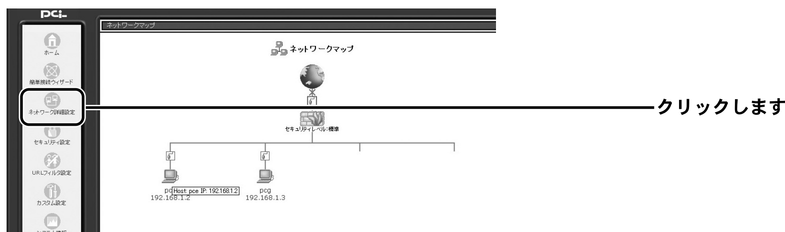


10. 以上で設定は終了です。

4 PPPoE接続の削除

ここでは、作成したPPPoE接続を削除する方法について説明します。

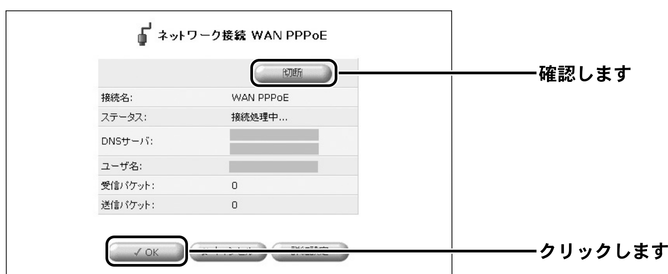
1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄から削除するPPPoE接続の［修正］ボタンをクリックします。



3. ［ネットワーク接続　WAN PPPoE］の画面が表示されます。
回線が接続されている場合は、［切断］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します
［OK］ボタンをクリックします。



4. ［ネットワーク詳細設定］の画面に戻ります。
［接続名］欄から削除するPPPoE接続の［削除］ボタンをクリックします。



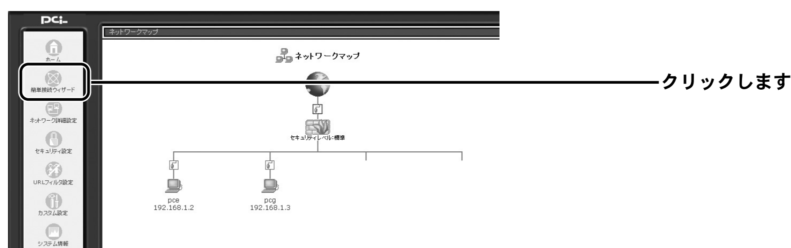
5. 以上でPPPoE接続の削除は終了です。

5 PPPoE以外の自動取得で設定する場合

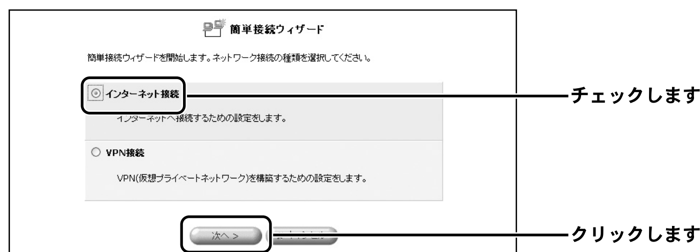
ここでは、PPPoE接続を使用しないで、IPアドレスを自動取得する方法について説明します。

※PPPoE以外の接続サービスには、通常接続やDHCPによるIPアドレス自動取得、固定IPアドレスの設定などがあります。

1. サイドバーから［簡単設定ウィザード］アイコンをクリックします。

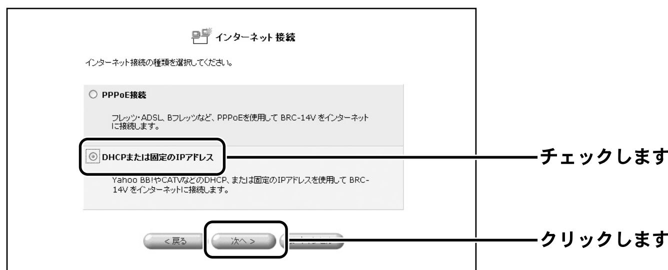


2. ［簡単設定ウィザード］の画面が表示されます。
［インターネット接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。

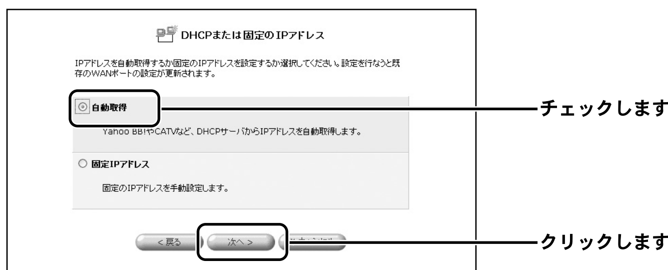


4
インターネットへの接続

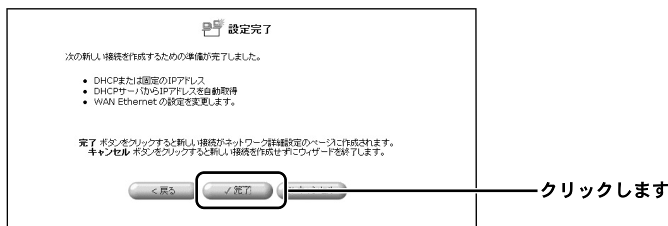
3. [インターネット接続］の画面が表示されます。
[DHCPまたは固定のIPアドレス］にチェックをつけ、[次へ］ボタンをクリックします。



4. [DHCPまたは固定のIPアドレス］の画面が表示されます。
[自動取得］にチェックをつけ、[次へ］ボタンをクリックします。



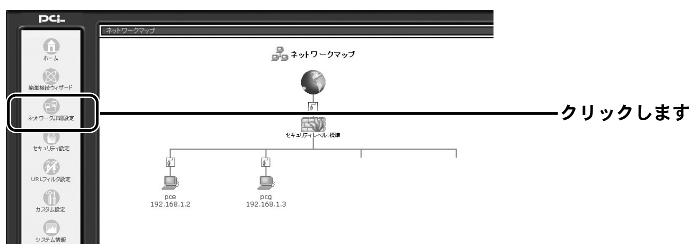
5. [設定完了］の画面が表示されます。
設定内容を確認して、[完了］ボタンをクリックします。
これで、プロバイダからIPアドレスを自動的に取得することができます。



6. プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されてる場合は、DNSサーバの設定を行う必要があります。

※プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、次の操作（①～⑨）は不要です。

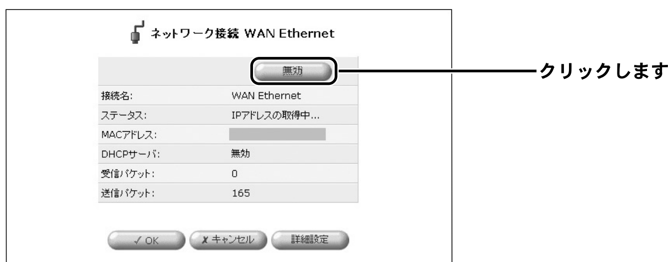
①サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



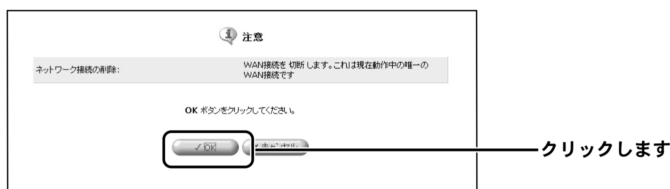
②［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［WAN Ethernet］の［修正］ボタンをクリックします。



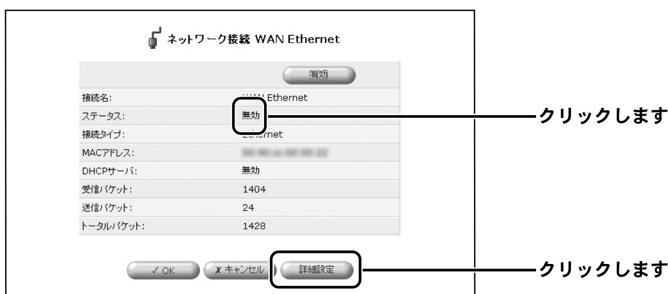
③［ネットワーク接続 WAN Ethernet］の画面が表示されます。
［無効］ボタンをクリックし、インターネットへの接続を切断します。



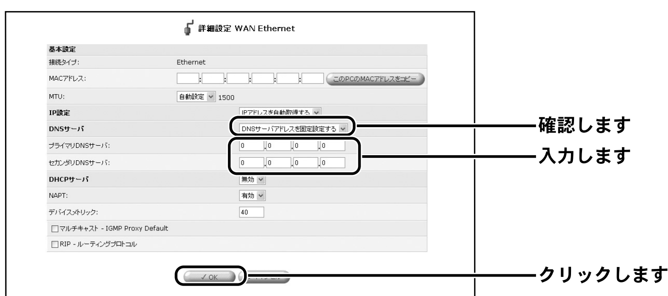
④インターネットの接続を切断する確認の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。



⑤［ネットワーク接続 WAN Ethernet］の画面に戻ります。
［ステータス］欄が［無効］に切り替わったことを確認し、［詳細設定］ボタンをクリックします。

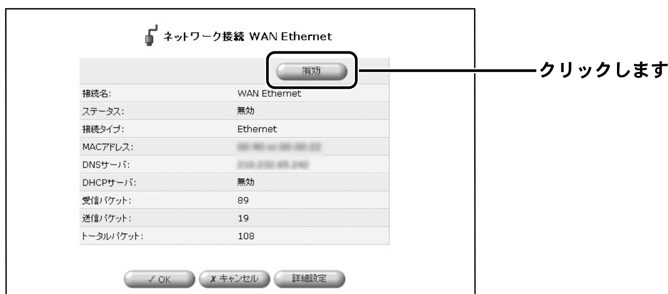


⑥［詳細設定 WAN Ethernet］の画面が表示されます。
［DNSサーバ］欄から［DNSサーバアドレスを固定設定する］を選択し、［プライマリDNSサーバ］と［セカンダリDNSサーバ］にプロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。［OK］ボタンをクリックします。

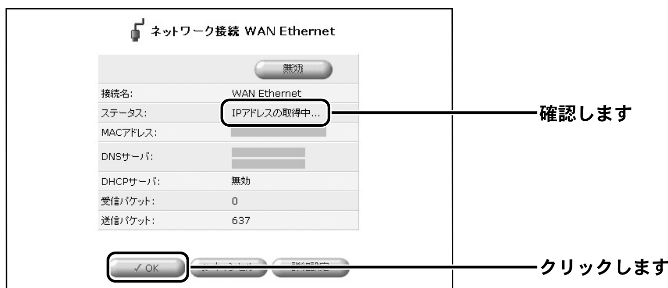


※プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスが1つの場合は、［プライマリDNSサーバ］にのみ入力してください。

⑦［ネットワーク接続　WAN Ethernet］の画面に戻ります。
［有効］ボタンをクリックします。



⑧［ステータス］欄が［IPアドレスの取得中］に切り替わったことを確認してください。
［OK］ボタンをクリックします。

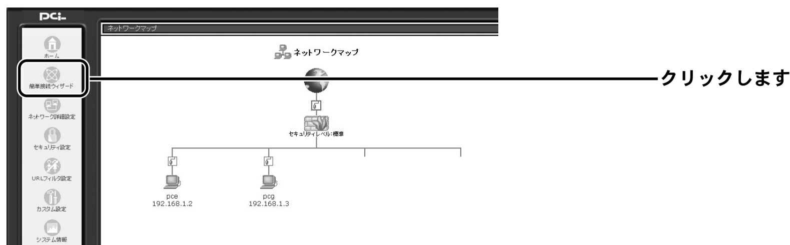


⑨以上で設定は終了です。

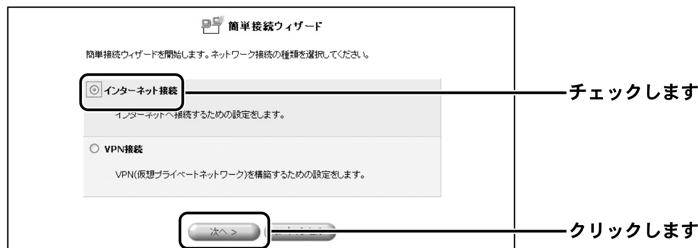
6 PPPoE以外でIPアドレスを固定で設定する場合

ここでは、PPPoE接続を使用しないで、IPアドレスを固定で設定する場合の方法について説明します。

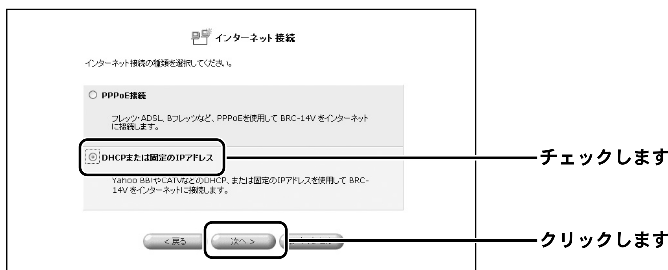
1. サイドバーから［簡単設定ウィザード］アイコンをクリックします。



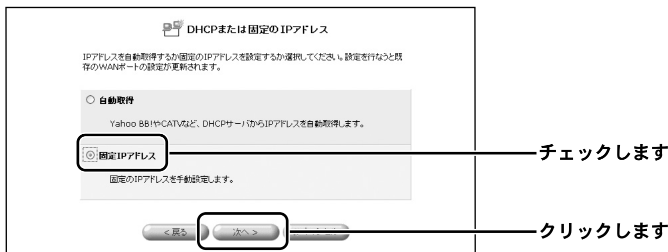
2.［簡単設定ウィザード］の画面が表示されます。
［インターネット接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。



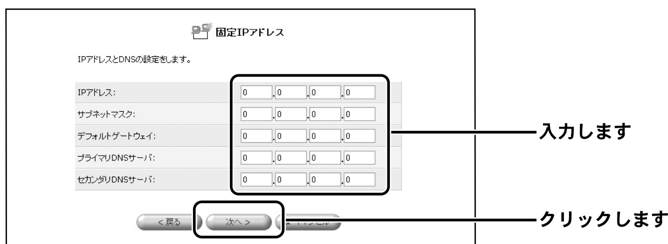
3.［インターネット接続］の画面が表示されます。
［DHCPまたは固定のIPアドレス］にチェックをつけ、［次へ］ボタンをクリックします。



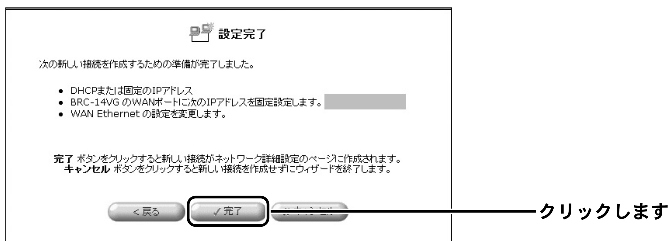
4. ［DHCPまたは固定のIPアドレス］の画面が表示されます。
［固定IPアドレス］にチェックをつけ、［次へ］ボタンをクリックします。



5. ［固定IPアドレス］の画面が表示されます。
プロバイダからの情報をもとにIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバのアドレスを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。



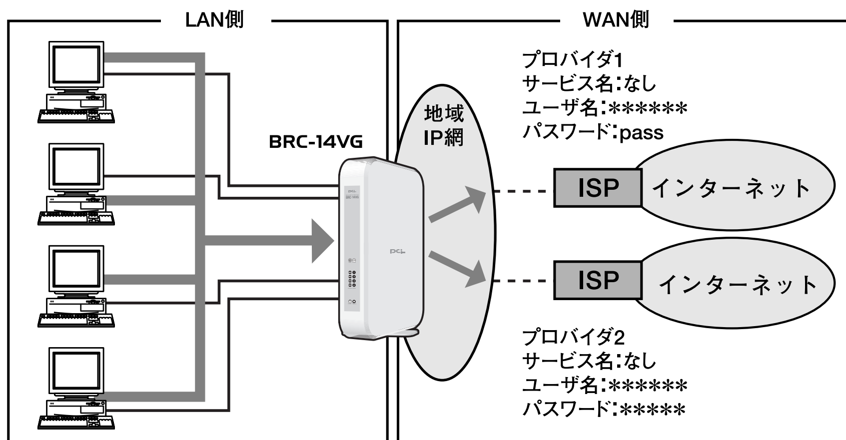
6. ［設定完了］の画面が表示されます。
設定内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。



7. 以上で設定は完了です。

7 PPPoE接続でマルチセッション接続を設定する場合

本製品はPPPoEマルチセッションに対応しています。マルチセッション利用時は複数のプロバイダを登録し同時に接続することができ、最大４セッションの接続を同時に行うことができます。



また、複数の接続先を登録したときは、デフォルトゲートウェイの変更や接続先の優先順位の変更を自由に行うことができます。
通常はPPPoE接続を作成した順に登録され優先順位が決まります。

接続名	優先順位	メトリック
WAN PPPoE	1	20
WAN PPPoE2	2	21
WAN PPPoE3	3	22
WAN PPPoE4	4	23



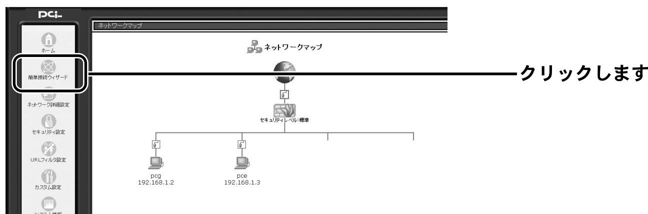
注意

- *複数セッションへの接続機能は、複数のPPPoEセッションへの接続を同時に行えるサービス（マルチセッション）でのみご利用することができます。*
- *マルチセッションがサポートされていないサービスの場合は、複数セッションへの同時接続機能はご利用できません。*
- *Unnumbered接続とは異なります。*
- *PPPoE接続以外の接続（DHCP接続など）ではこの機能はご利用できません。*

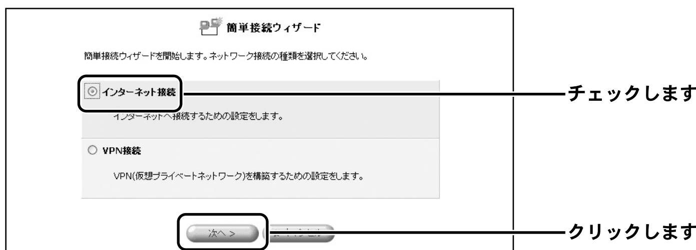
●複数の接続先を登録する場合

ここでは、1つ目のPPPoE接続が既に登録されていて、2つ目を追加登録するときの方法について説明します。

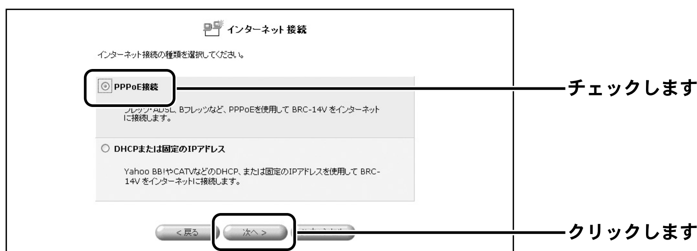
1. サイドバーから［簡単設定ウィザード］アイコンをクリックします。



2. ［簡単設定ウィザード］の画面が表示されます。
［インターネット接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。



3. ［インターネット接続］の画面が表示されます。
［PPPoE接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。

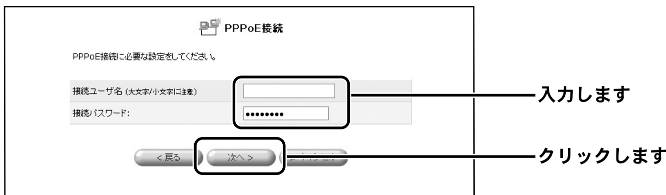


4
インターネットへの接続

4. ［PPPoE接続］の画面が表示されます。

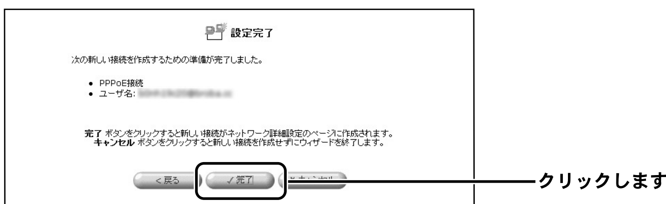
2つ目のプロバイダから指定された接続ユーザ名、接続パスワードを入力します。

［次へ］ボタンをクリックします。

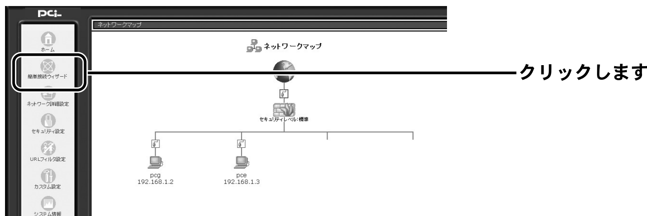


5. ［設定完了］の画面が表示されます。

設定内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。



6. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



7. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。

［接続名］欄に2つ目の［WAN PPPoE2］が表示されてることを確認します。

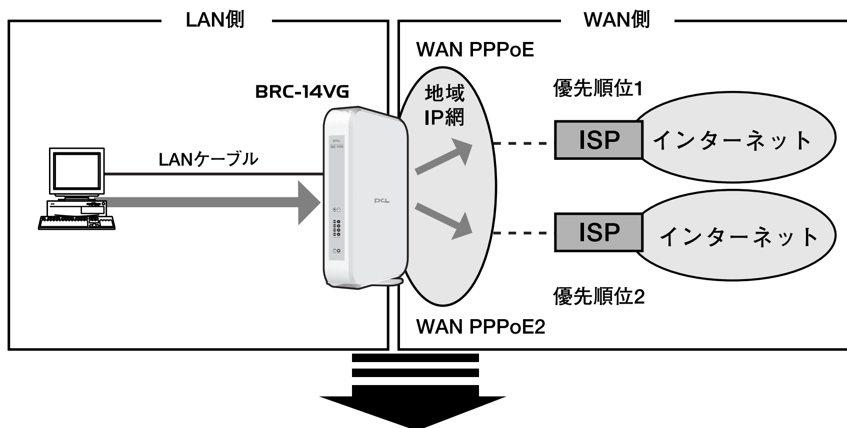


8. 以上で設定は終了です。

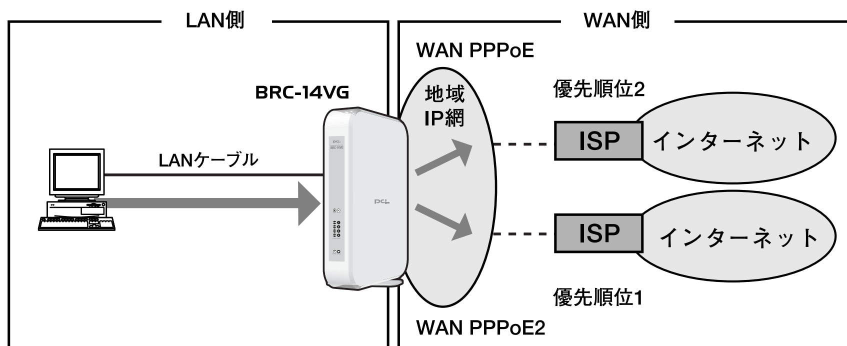
3つ目、4つ目のPPPoEの接続先を登録するときは、同様の手順で設定してください。

●接続先の優先順位を変更する場合

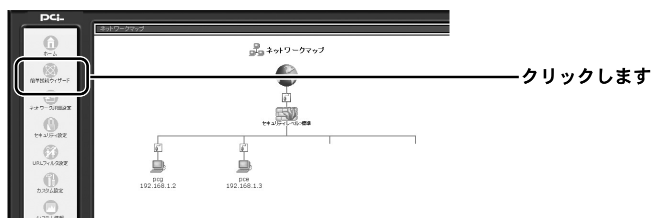
本製品で複数の接続先を登録したときは、登録した順に優先順位が設定されます。本製品はPPPoE接続を設定後、デフォルトゲートウェイの変更や優先順位を変更することができます。



「WAN PPPoE」を優先順位2、「WAN PPPoE2」を優先順位1に変更した場合



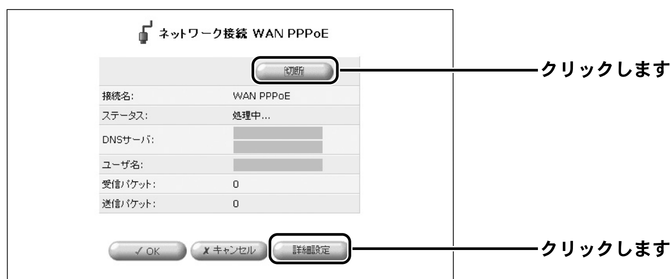
1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



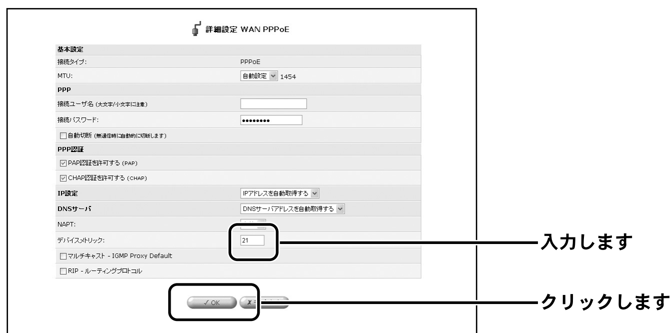
2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄から［WAN PPPoE］の［修正］ボタンをクリックします。



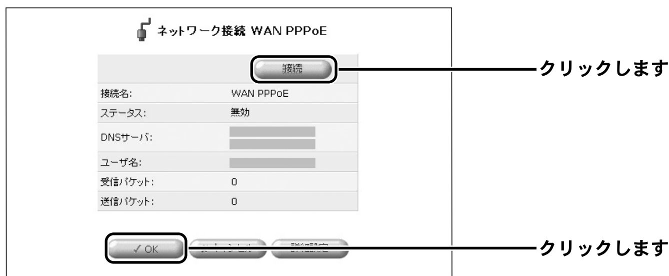
3. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］ の画面が表示されます。
回線が接続されてるときは、［切断］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。［詳細設定］ボタンをクリックします。



4. ［詳細設定 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［デバイスメトリック］欄に「21」を入力し、［OK］ボタンをクリックします。



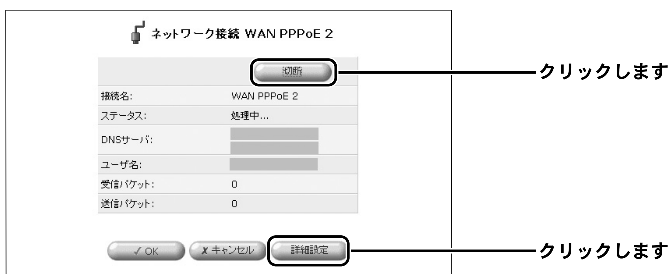
5. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面に戻ります。［接続］ボタンをクリックし、［ステータス］欄が［処理中］に切り替わったことを確認してください。［OK］ボタンをクリックします。



6. ［ネットワーク詳細設定］の画面に戻ります。
［接続名］欄から［WAN PPPoE2］の［修正］ボタンをクリックします。



7. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE2］ の画面が表示されます。
回線が接続されているときは、［切断］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。［詳細設定］ボタンをクリックします。

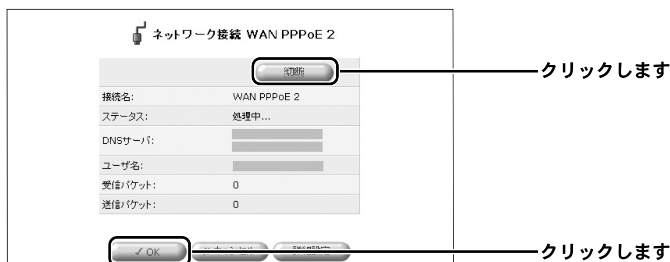


4
インターネットへの接続

8. [詳細設定 WAN PPPoE2] の画面が表示されます。
[デバイスメトリック] 欄に「20」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

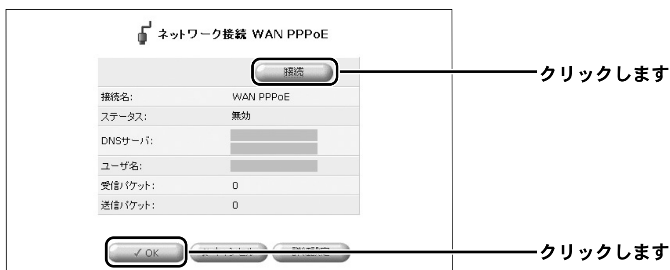


9. [ネットワーク接続 WAN PPPoE2] の画面に戻ります。
[接続] ボタンをクリックし、[ステータス] 欄が [処理中] に切り替わったことを確認してください。[OK] ボタンをクリックします。



10. [接続名] 欄から [WAN PPPoE] を選択し、[修正] ボタンをクリックします。

11. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［接続］ボタンをクリックし、［ステータス］欄が［処理中］に切り替わったことを確認してください。［OK］ボタンをクリックします。



12. 本製品に設定されたWAN PPPoE2がデフォルトゲートウェイ、WAN PPPoEが優先順位２に変更され、インターネットに接続されました。

13. 以上で設定は終了です。
3つ目、4つ目のPPPoEの優先順位を変更する場合は、同様の手順で設定してください。

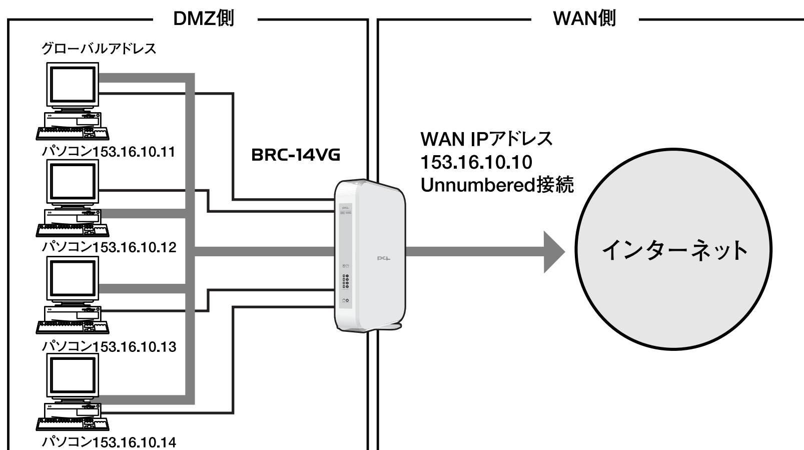
8 Unnumbered接続を設定する場合

本製品は複数の固定IPアドレスを利用するUnnumbered接続に対応しています。Unnumbered接続を利用することで、LAN側に設置したサーバ等をインターネットに公開することができます。また、LAN側にNAPTによるプライベートアドレスのホストとUnnumbered接続を利用したグローバルアドレスのホストを設定し同時に通信を行うこともできます。

通常、プロバイダから複数のグローバルIPアドレスが割り当てられたときは、１つのサブネットとして連続したグローバルIPアドレスが割り当てられます。このうち、最初（ネットワークアドレス）と最後（ブロードキャストアドレス）はシステムで予約されており、ホスト（コンピュータやサーバ）には使用できません。

例）プロバイダから153.16.10.8～153.16.10.15の8個のグローバルIPアドレスが割り当てられたとき

153.16.10.8　ネットワークアドレス（使用不可）
153.16.10.9　デフォルトゲートウェイ
153.16.10.10 ルータ用（WANポートまたはWAN PPPoEポート用）
153.16.10.11
～
153.16.10.14 ホスト用
153.16.10.15 ブロードキャストアドレス（使用不可）



本製品でUnnumbred接続を設定するときは、接続方法により異なります。
お使いの接続方法をご確認のうえ、該当するページをご参照ください。

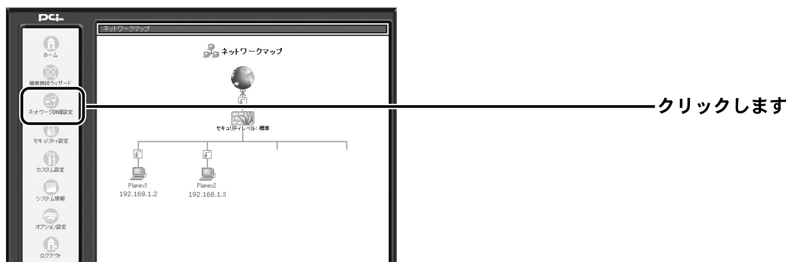
●PPPoE接続でUnnumbered接続を利用する場合
→「PPPoE接続でUnnumbered接続を設定する場合」にお進みください。

●PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を利用する場合
→「PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を設定する場合」へお進みください。

9 PPPoE接続でUnnumbered接続を設定する場合

ここでは、PPPoE接続でUnnumbered接続を設定する方法について説明します。

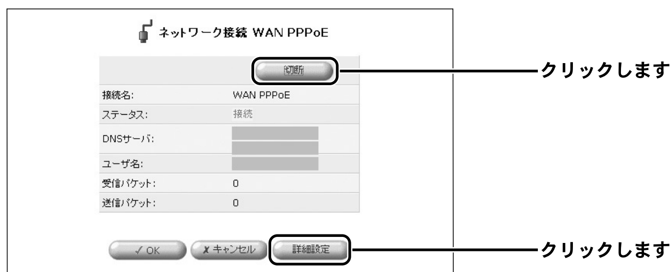
1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
すでに設定してある［WAN PPPoE］接続の［修正］ボタンをクリックします。

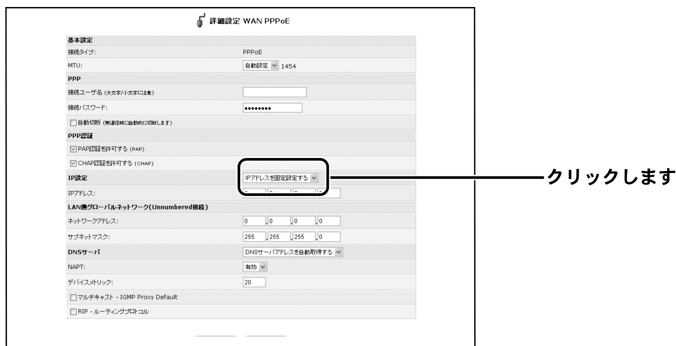


3. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］ の画面が表示されます。
回線が接続されてるときは、［切断］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。［詳細設定］ボタンをクリックします。

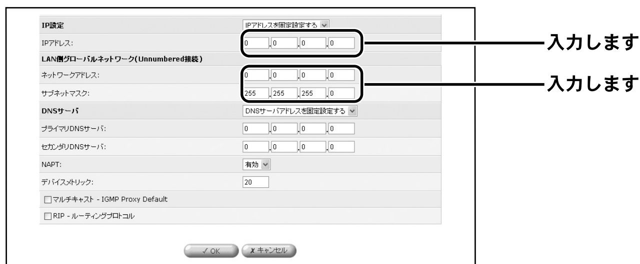


4 インターネットへの接続

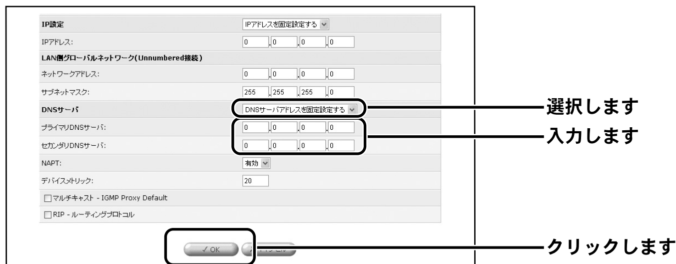
4. ［詳細設定 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［IP設定］欄から［IPアドレスを固定設定する］を選択します。



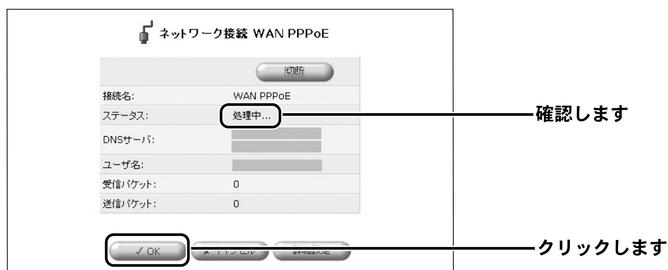
5. ［IPアドレス］欄にプロバイダからの情報をもとにIPアドレスを入力します。［LAN側グローバルネットワーク（Unnumbered接続）］欄にプロバイダから割り当てられたネットワークアドレスとサブネットマスクを入力します。



6. ［DNSサーバ］欄から［DNSサーバを固定設定する］を選択し、プロバイダからの情報をもとにDNSサーバアドレスを入力します。［OK］ボタンをクリックします。



7. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［接続］ボタンをクリックし、［ステータス］欄が［処理中］に切り替わったことを確認してください。［OK］ボタンをクリックします。

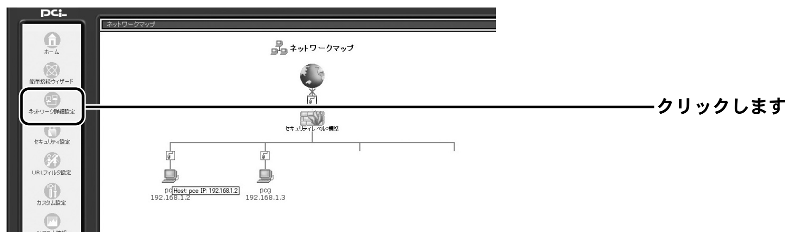


8. 以上でUnnumbered接続のWAN側の設定は終了です。
次にお使いのパソコンにグローバルIPアドレスを設定します。
「11. パソコンのIPアドレス設定」へお進みください。

10 PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を設定する場合

ここでは、PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を設定する方法について説明します。

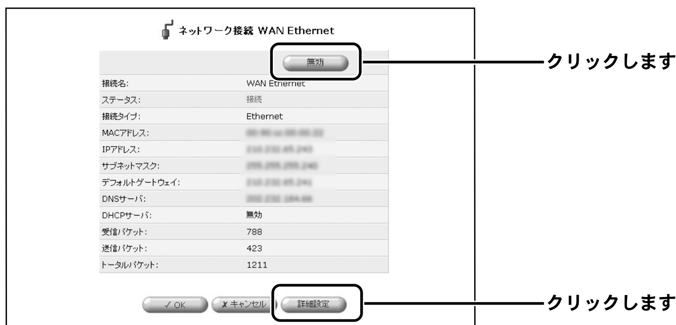
1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。



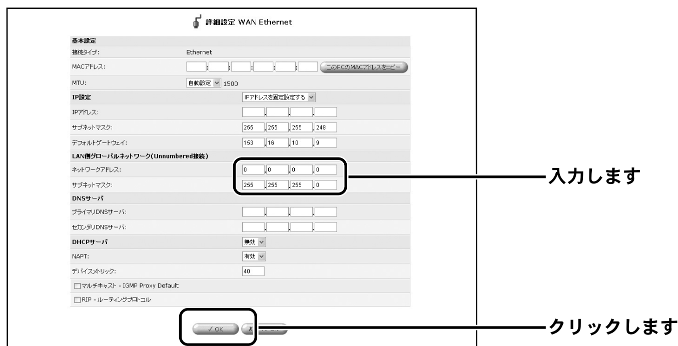
2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄から［WAN Ethernet］を選択し、修正ボタンをクリックします。



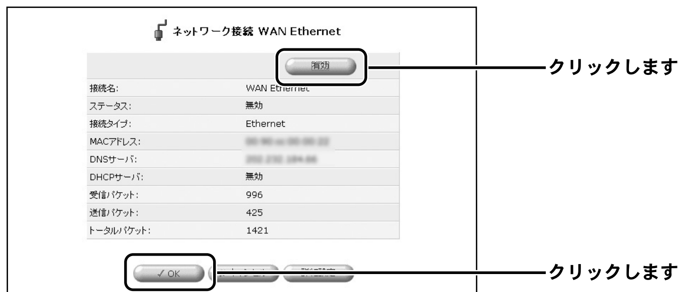
3. ［ネットワーク接続 WAN Ethernet］の画面が表示されます。
回線が接続されてるときは、［無効］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。［詳細設定］ボタンをクリックします。



4. [LAN側グローバルネットワーク(Unnumbered接続)]欄にプロバイダから割り当てられたネットワークアドレスとサブネットマスクを入力します。[OK]ボタンをクリックします。



5. [ネットワーク接続 WAN Ethernet]の画面に戻ります。
[有効]ボタンをクリックし、[ステータス]欄が[接続]に切り替わったことを確認してください。[OK]ボタンをクリックします。

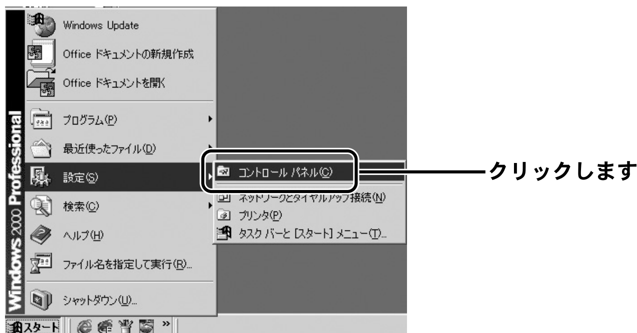


6. 以上でUnnumbered接続のWAN側の設定は終了です。
次にお使いのパソコンにグローバルIPアドレスを設定します。
「11.パソコンのIPアドレス設定」へお進みください。

11 パソコンのIPアドレス設定

ここでは、Windows® 2000を例にして、パソコンにグローバルIPアドレスを設定する方法について説明します。

1. [スタート] ー [設定] ー [コントロールパネル] をクリックします。



2. ネットワークとダイアルアップ接続] をダブルクリックします。

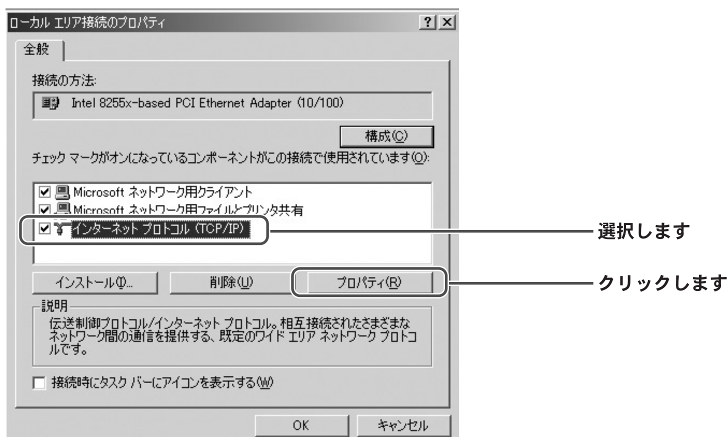


。

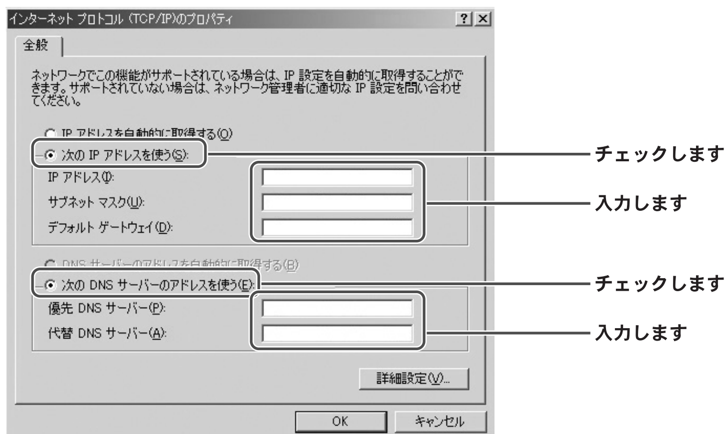
3. [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。



4. [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



5. [次のIPアドレスを使う] と [次のDNSサーバのアドレスを使う] にチェックを付けます。
プロバイダからの情報をもとに、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバ、代替DNSサーバを入力します。



※プロバイダからの設定資料にそって設定してください。

6. [OK] ボタンをクリックします。

7. 以上で設定は終了です。

ネットワークQ&A

1 ブロードバンドルータの色々な「?」について

インターネットの急速な普及により、ブロードバンドルータ(以下、ＢＢルータ)を使用する場面が増えてきました。特に多く寄せられる、LAN全般や弊社製品を使用する際にぶつかる疑問点についていくつかまとめてみました。
ネットワークはよく解らない…という方は是非ご一読ください。弊社製品に対する理解を深められることでしょう。

Q. BBルータの設定は接続するコンピュータに対して全部で行うのですか?

A. いいえ

複数台接続している環境であっても、いずれか1台のコンピュータからBBルータの設定を行うだけで完了します。

補足

設定作業を行った1台でBBルータを介してインターネットにアクセスできるようになっていれば、その時点でBBルータの設定は完了したことになります。他のコンピュータから同じように設定を行う必要はありません。
例えば、2台のコンピュータのうち、1台はインターネットにアクセスできるが、もう1台はアクセスできないという場合は、BBルータではなくコンピュータ側に問題があることが考えられます。

Q. インターネットに接続できないのに、どうやって設定画面を表示するんですか?

A. インターネットへの接続と関係なく、設定画面を表示できます。

設定画面はBBルータの中にあります。BBルータの中に設定用のホームページが存在しアクセスすることで、BBルータの設定を行っているのです。
ですから、BBルータがインターネット(モデム)につながっていなくてもコンピュータは設定画面にアクセスすることができるのです。

Q.「ブラウザ」ってなんですか？

A. インターネット上のホームページ等を見るためのソフトです。

「インターネットエクスプローラ」や「ネットスケープ」等が代表的なソフトになります。

補足

BBルータのマニュアルでは「インターネットエクスプローラ」の画面が使われているので「ネットスケープではどうやって設定するんですか？」という質問も寄せられますが、例えば「yahoo」のホームページが「インターネットエクスプローラ」でも「ネットスケープ」でも見ることができるように、BBルータの設定画面も問題なく「ネットスケープ」で表示することができます。

Q. IPアドレスってなんですか？

A. TCP/IPプロトコルを使ったネットワークにおいて、コンピュータごとに割り当てられる個別の数字のことを言います。

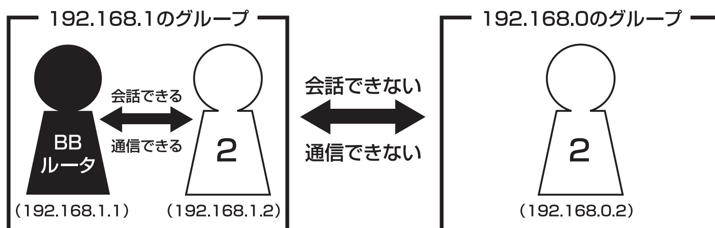
数字がちょっと変わるだけでアクセスできなくなったりする厄介なイメージがあると思いますが、簡単に考えるなら「学校のクラスと出席番号」に置き換えて考えると判り易いかと思います。

例えばA君とB君とC君がいて、A君とB君は「1-1」組でC君が「1-2」組の場合、A君とB君は同じ教室なのでいつでも話をすることができますが、C君は教室が別なのでA君達とは会えません。IPアドレスもほとんどそれと同じような理屈になっています。

実際のIPアドレスで例えるなら、BBルータのIPアドレスは出荷時には「192.168.1.1」というIPアドレスが設定されています。これは、BBルータ君は「192.168.1」組の出席番号「1」番という意味になります。このBBルータ君と話をするにはコンピュータも「192.168.1」組に入らないと教室が別になるので話ができません。

BBルータにアクセスするコンピュータのIPアドレスが「192.168.1.2」であれば「192.168.1」組の出席番号「2」番になるので、そのコンピュータはBBルータ君と話をすることができます。
もしコンピュータのIPアドレスが「192.168.0.2」だと、そのコンピュータは「192.168.0」組になるためBBルータ君とは教室が別になり、BBルータ君と話をすることができません。

つまり、BBルータにアクセスするにはコンピュータのIPアドレスが「192.168.1.**」という数字でなくてはならないのです。



上記の説明で「出席番号が同じになるとどうなるの？」という疑問を持った方もいると思います。
もし同じ出席番号の人が同じ教室に2人いたら混乱しますね？ ネットワークもそれと同じで、IPアドレスは重複してはいけないようになっています。
同じ番号のコンピュータが存在した場合、「その番号を使っている人が他にいますよ」という内容の警告メッセージがコンピュータ上に表示されます。

ここまで読んでいただいた方はもうお判りだと思いますが、IPアドレス「AA.BB.CC.DD」の3つ目（CC）までがネットワークのグループを表していて、最後の数字（DD）がコンピュータごとに設定される個別の数字ということになります。

補足

厳密にはもっと色々なルールがあるのですが、BBルータの設定画面にアクセスするには少なくとも上記レベルのルールが判っていれば、トラブルに遭った時の対処や問題の切り分けに役立つと思います。

2 設定画面

ここではBBルータの設定画面にうまくアクセスできない場合の主な確認点及び確認方法をまとめました。ご利用のコンピュータに該当する項目がないかチェックしてください。

Q. 設定画面にアクセスできないのですが?

A. LANランプ、IPアドレス、プロキシ、セキュリティソフトそれぞれの項目が正しく設定されていないとアクセスできません。もう一度設定を確認してみてください。
また、BBルータとの通信が正常に行われていない可能性もあります。これはpingというコマンドを使って確認することができます。

確認!

LANランプ

LANランプは点灯していますか?

コンピュータが接続されて正常に通信ができる状態になると「LINK」と言われるランプが点灯します。
BBルータには「LAN」「Link/Act」「LAN LINK」等の名称で呼ばれるランプがついていますので、そのランプが点灯しているか確認してください。(詳しくはマニュアル第1章 4の「各部の名称」をご覧ください)。

・点灯しない場合
ランプが点灯していないときは、BBルータとコンピュータは通信できる状態になっていませんので、設定画面にもアクセスできません。
いくつか原因は考えられますが、まずはケーブルを交換してみてください。
正常にランプが点灯しているポートで使用中の、他のケーブルを使って接続してみてください。
ケーブル交換の後、正常にランプが点灯するようであれば、交換前に使用していたケーブルに問題があるということになります。

確認!

IPアドレス

IPアドレスが正しく取得できていますか?

アクセスできないときは、取得しているIPアドレスを確認してください。
BBルータには「192.168.1.1」というIPアドレスが出荷時に設定されており、BBルータにアクセスするにはコンピュータが「192.168.1.**」というIPアドレスを取得している必要があります(最後の「**」には任意の数字が入ります)。
異なるIPアドレス(210.119.**.**等)を取得しているときはBBルータの設定画面にはアクセスできません。

・確認方法
主なOSでの確認方法は以下のようになりますので、取得しているIPアドレスの確認を行ってください。

Windows® Me/98SEの場合：
1.「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「WINIPCFG」と入力して「OK」をクリックしてください。

2.「IP設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLANカードに変更してください。

3.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください(**には任意の数字が入ります)。

Windows® XP/2000の場合：
1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」を開き、「コマンドプロンプト」を選択してください。

2.キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG」と入力し、Enterキーを押してください。

3.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください(**には任意の数字が入ります)。

Mac OS® の場合：
1.アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を開いてください。

2.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください(**には任意の数字が入ります)。

・まったく違うIPアドレスを取得している場合（Windows® のみ）

確認したIPアドレスが「192.168.1.**」ではなく、まったく違うIPアドレスを取得している場合、以下の方法で取得しているIPアドレスを開放して、再度IPアドレスを取得しなおすことができます。

Windows® Me/98SEの場合：

1.「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「WINIPCFG」と入力して「OK」をクリックしてください。

2.「IP設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLANカードに変更→「すべて開放」ボタンをクリックしてください。

3.「IPアドレス」が「0.0.0.0」になったのを確認してから「すべて書き換え」ボタンをクリックしてください。

4.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されていれば正しく取得できたことになります（**には任意の数字が入ります）。

Windows® XP/2000の場合：

1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」を開き、「コマンドプロンプト」を選択してください。

2.キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG /RELEASE」と入力し、＜Enterキー＞を押してください。

3.「IPCONFIG/RENEW」と入力し、＜Enter＞キーを押してください。

4.「IPCONFIG」と入力し、＜Enter＞キーを押してください。

5.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されていれば、正しく取得できたことになります（**には任意の数字が入ります）。

確認!

ping

BBルータと正常に通信していますか？

・接続確認方法（Windows® のみ）
BBルータと通信できているかどうかは「ping」コマンドで確認することができます。

Windows® 98SEの場合：

1.「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」を選択、「MS-DOSプロンプト」のウインドウが開きます。

2.ウインドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。

3.「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されます。
「Reply from　192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

Windows® Meの場合：

1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」を選択、「MS-DOSプロンプト」のウインドウが開きます。

2.ウインドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。

3.「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されます。「Reply from　192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

Windows® XP/2000の場合：

1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選択、「コマンドプロンプト」のウインドウが開きます。

2.ウインドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。

3.「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されます。「Reply from　192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

・応答が「Request Timed Out」になる

「ping 192.168.1.1」と実行した時「Request Timed Out」と表示されるときは、IPアドレスが正しく取得できていないか、コンピュータのLANアダプタが正常に動作していない可能性が考えられます。

1.IPアドレスが正しく取得できているか確認してください。「IPアドレスが正しく取得できていますか？」に確認方法が記載されています。

2.LANアダプタが正常に動作しているか確認してください。確認方法はモデムに直接接続してインターネットにアクセスできれば正常です。

確認!

ブラウザのプロキシ（PROXY）設定

不要な設定をしていませんか？

ブラウザのプロキシになんらかの設定が行われていると、アドレスに指定された所に接続する前に、プロキシで設定した所に接続しようとしてしまうため、設定画面にアクセスできないときがあります。そのときは以下の手順でプロキシの設定を解除してください。

インターネットエクスプローラの場合（5.0以降）：
1.メニューの「ツール」→「インターネットオプション」を選んでください。

2.「接続」タブをクリックし「LANの設定」ボタンをクリックしてください。

3.「自動設定」と「プロキシサーバ」のチェックボックスでチェックされている項目がありましたら、全ての項目のチェックを外してください。

4.「OK」ボタンをクリックし、「ローカルエリアネットワークの設定」ウインドウを閉じてください。

5.再度「OK」ボタンをクリックし、「インターネットオプション」ウインドウを閉じてください。

6.一度インターネットエクスプローラを終了させてから再度起動し、再度BBルータの設定画面にアクセスできるか試してください。

ネットスケープの場合：

1.メニューの「編集」→「設定」を選択してください。

2.「詳細」→「プロキシ」を選択、「インターネットに直接接続する」をチェックしてください。

3.「OK」ボタンをクリック→ウインドウを閉じてください。

4.一度ネットスケープを終了させてから再度起動し、再度BBルータの設定画面にアクセスできるか試してください。

セキュリティ関連ソフトの影響

ウイルスバスターやノートンアンチウイルス等、最近のウイルスチェックソフトには簡易ファイヤウォールという機能を搭載した物が増えています。

ファイヤウォールはアクセス許可をしていないIPアドレスからのパケット(通信)を遮断したりする機能です。

有効になっていると稀にBBルータとの接続時にファイヤウォール機能が働いて設定画面がうまく表示されない事や、設定内容を保存するとエラーになること等があります。
ウイルスチェックソフトやインターネットセキュリティソフトをご使用になられているときは、それらのソフトを停止させてみてください。停止方法が判らない場合は、各ソフトウエアのマニュアルをご覧ください。

3 インターネットにアクセスできない

ここではBBルータの設定を行ってもインターネットへのアクセスができない場合の、主な確認点及び確認方法をまとめました。
接続方法別にまとめてありますので該当する項目がないかチェックしてください。
設定画面にアクセスができない場合は、90ページ「設定画面にアクセスできないのですが？」をご覧ください。

共通項目　事前確認編

どの接続方法にも共通する、最初に確認すべき点です。

Q. 設定画面ではすべて正しく設定できたのですが、なぜインターネットにアクセスできないのでしょうか？

A. BBルータが正しく接続されていないと通信が行われないので、インターネットにはアクセスできません。以下を確認してください。

確認! WANランプ

WANランプは点灯していますか？

BBルータとモデムを接続して正常に通信ができる状態になると、BBルータの「WAN」のランプが点灯します。

・点灯しない場合

「WAN」のランプが点灯しないときは、モデムと正常に接続していないことを表しますので、その状態ではインターネットに接続することができません。

本製品は「Auto-MDI/MDI-X」に対応しているので、ケーブルの種類（ストレート/クロス）の違いは関係なくなります。
ポートにケーブルのコネクタが正しく挿さっているか再度確認してください。
それでも、点灯しない場合は使用しているLANケーブルを変えてみる必要があります。

接続設定フレッツ編

ここではNTT提供のフレッツ・ADSL、Bフレッツ等のようなフレッツ接続ツールを利用してインターネットにアクセスするときの、インターネット接続に関する主な確認点をまとめました。
接続ツール等を使わない場合は101ページ「接続設定ケーブルTV、Yahoo!BB編」をご覧ください。

Q. インターネットへの接続や切断はどうするの？

A. BBルータが回線の状態を検知し、自動的に接続・切断を行います。

NTT「フレッツ」を利用されているほとんどの方が、NTTのフレッツ接続ツールを使ってインターネットに接続し､アクセスをやめる時は切断処理をしていたと思いますが、「BBルータを使う場合はどうやって接続するの？」という疑問をもたれる方もいると思います。

BBルータ使用の場合、コンピュータがインターネットへ接続しようとすると、そのコンピュータはBBルータに接続のための信号を送信します。
BBルータはその信号を受信すると、回線が切断状態の時には自動的に接続を開始します。そして、一定時間インターネットへの接続が発生しない場合、自動的に切断を行うようになっています。

つまり、ユーザーは接続や切断を意識することなく、インターネットへアクセスできるのです。



注意

上記の動作は出荷時の設定で使用した場合になります。設定内容によっては上記のような動作にならない場合もありますのでご注意ください。

Q. 今までフレッツ接続ツールを使っていたのですが、BBルータを設置した場合にインターネット接続する時の確認点はなんですか?

A. ユーザID、パスワード、PPPoE設定・接続、接続ツールなどです。

確認!

ユーザID、パスワード

ユーザIDとパスワードに間違いはないですか？

フレッツ接続の場合、接続のためにユーザーID（ログインID）とパスワード（ログインパスワード）をブロードバンドルータに設定しますが、その入力を間違えると正常に接続できません。
入力ミスは意外と多く、再度入力し直すと接続できることが度々ありますので、入力した内容に間違いがないか、今一度確認してください。
「1（いち）」⇔「l（エル）」、「0（ゼロ）」⇔「O（オー）」の間違いなど。

フレッツの場合は「@」以降の入力が必須です

フレッツ・ADSLやBフレッツの場合は、ユーザID（ログインID）やパスワード（ログインパスワード）の入力が必須です。
特に注意すべき点として、ユーザIDの設定ではご利用になるプロバイダごとに、ユーザIDの後ろに「@****.ne.jp」というような設定入力が必要です。

プロバイダからの接続資料にはユーザIDの表記で「@」以降の部分が記載されていない場合もあります。
その場合はNTTからのフレッツ接続資料の中に、プロバイダ別のドメイン名リストがありますので、そちらで「@」以降の表記をご確認ください。

確認!

PPPoE設定

PPPoE接続の結果を確認してください。

ブロードバンドルータにより確認方法が異なってくるため詳細は割愛しますが、PPPoEの接続設定の後には接続確認が大抵の場合行われます。
「接続診断」という機能を持ったブロードバンドルータの場合は、その機能を使って接続結果が良好かどうかを確認してください。
設定の最後で自動的に接続し、その結果を画面上に表示するタイプのブロードバンドルータの場合、接続に成功したというメッセージが表示されるか確認してください。

・接続テストの結果、接続できなかったという場合

「PADI-TIMEOUT」や「サーバからの応答 NG」等になる時は、PPPoE設定の「ユーザID」の設定が正しくても接続できないことがあります。
その場合、モデム・ブロードバンドルータ・コンピュータの電源をそれぞれ切り、電源を切ったままの状態で30～60分ほどそのままにしておいてください。
30～60分ほど経過しましたらモデム→ブロードバンドルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

確認!

フレッツ接続ツール

フレッツ接続ツールは使いません

ブロードバンドルータを使用するときは、フレッツ接続ツールは使用しません。
もし現在、ブロードバンドルータの設定後にフレッツ接続ツールを起動してインターネットへの接続をしているときは、フレッツ接続ツールは使用せずにブラウザを起動して、インターネットに接続できるか確認してください。
正しく接続設定が行われていれば,フレッツ接続ツールを使用しないで接続できます。

・PPPoE接続だけど接続ツールを使わない場合の設定は？

ADSL回線でPPPoE接続だが、モデムにコンピュータを接続してインターネットにアクセスする際、接続ツール等を使用しないというときは、ご利用のモデムにブロードバンドルータ機能がついている可能性が考えられます。そのときは「PPPoE接続」ではありませんので、「ルータ機能付きモデムをご利用の場合」を参考に設定を行ってください。

ルータ機能付きモデムをご利用の場合

プロバイダから提供されているモデムにルータ機能がついている場合があります。その場合複数のコンピュータで利用するときは、ハブがあればアクセスできるため本来ブロードバンドルータは必要ありません。
しかし、どうしてもブロードバンドルータを使用したいという場合は、ブロードバンドルータのIPアドレスを変更することで利用可能になります。
*ブロードバンドルータのIPアドレスは本冊子の冒頭でも触れているように「192.168.1.1」になります。もし、ご利用のモデムも同じく「192.168.1.1」というIPアドレスを持っていて、しかも設定画面にアクセスした時にモデムの設定が行えるようだと、ブロードバンドルータのWAN側とLAN側が同じようなアドレス（192.168.1.**）になってしまい、ブロードバンドルータが混乱して正常な動作ができなくなります。*
*ハブではなくブロードバンドルータを使用したい場合はブロードバンドルータのLAN側のIPアドレスを、「192.168.2.**」等のようにWAN側のIPとは別のアドレスに変更すれば、接続できるようになります。*

接続設定ケーブルTV、Yahoo!® BB編

Q. ケーブルTVインターネットやYahoo!® BBを利用した場合に、インターネット接続する時の確認点はなんですか?

A. IPアドレスの取得、ケーブルTVインターネットの場合はケーブルの接続方法にもご注意ください。

IPアドレスの取得

・ケーブルTVやYahoo!® BBをご利用の場合

ケーブルTVやYahoo!® BBを利用するときは「通常接続(DHCP接続)」という方式で接続を行います。
インターネットに接続するには、BBルータがプロバイダからIPアドレスを取得しなければいけませんので、ブロードバンドルータのWAN側ポートにIPアドレスが表示されているか確認してください。
確認方法はブロードバンドルータによって画面が異なりますので詳細は割愛しますが、「ステータス表示」や「アカウント管理」の画面で確認することができます。

・ケーブルの接続

・WAN側ポートにIPアドレスが割り当てられない時
ケーブルTV等を利用したPPPoE以外のインターネット接続方法のときは、ブロードバンドルータを接続する前まではコンピュータをモデムに接続して利用していることが多いと思います。
ケーブルをモデムから外してそのままブロードバンドルータに接続してしまうと、本来ブロードバンドルータに割り当てられるはずのIPアドレスをコンピュータが持ったままになってしまい、ブロードバンドルータがモデムからIPアドレスを正しく取得できないことがあります。
そのときはコンピュータを再度モデムに接続しなおして、一度コンピュータを終了してください。
モデム接続後にコンピュータを終了させれば、コンピュータが取得したIPアドレスは開放されます。コンピュータの電源が切れたらモデムとブロードバンドルータを接続し、モデム→ブロードバンドルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

・それでも接続できない場合

モデムにコンピュータを接続した後、一旦終了させてからモデムとブロードバンドルータを接続し、電源を入れなおしてもインターネットに接続できないときは、モデム・ブロードバンドルータ・コンピュータの電源をそれぞれ切り、電源を切ったままの状態で60分ほどそのままにしておいてください。
モデムを含めた全ての機器の電源を長時間切ることによって、プロバイダ側のサーバが記憶している情報が削除されて、初めて接続した時のような状態で接続することができます。60分ほど経過しましたらモデム→ブロードバンドルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

共通項目　最終確認編

どの接続方法にも共通する、最後に確認すべき点です。

Q. 事前確認、接続設定と確認して問題がなかったのですが、それでもアクセスできません。ほかに確認点はありますか?

A. コンピュータのIPアドレスが自動取得である事と、DNSサーバアドレスの設定を再確認してください。

確認!
自動取得

コンピュータのIPアドレスは自動取得になっていますか?

コンピュータのIPアドレスを手動で設定するときは、正しく設定されていないと設定画面にはアクセスできてもインターネットにアクセスできないことがあります。
手動設定の場合の注意点は次ページ「IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は？」を参照していただき、コンピュータのIPアドレスが正しく自動取得になっているか、マニュアルを再度確認してください。

確認!
DNSサーバアドレス

IPアドレスでホームページにアクセスしてみてください。

ブラウザのアドレスに「http://210.197.75.205」と入力してEnterキーを押していただき、弊社（プラネックス）のホームページが表示されるか確認してください。
「http://210.197.75.205」だとアクセスできて「http://www.planex.co.jp」だとアクセスできない場合は、DNSサーバアドレスが正しく設定できていない可能性が考えられます。次ページ「IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は?」を参考に設定を行ってください。

4 その他　よくあるお問い合わせについて

ここでは、多数寄せられる質問について、いくつかまとめてみました。

Q. IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は？

A. IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレスが正しく設定されているか再確認してください。

IPアドレスの基本的なルールは冒頭の「IPアドレスってなんですか？」の中で触れていますが、設定画面を表示するときに必要な最低限の説明だけなので、インターネットに接続する場合の設定については不十分になっています。手動でIPアドレスを設定するときの注意点は以下のようになります。

IPアドレス：
IPアドレスの設定については88ページ「IPアドレスってなんですか？」をご覧ください。

サブネットマスク：
通常は「255.255.255.0」と指定してください。

デフォルトゲートウエイ：
（Mac® OSでは「ルータアドレス」と言います）
BBルータのIPアドレスが入ります。出荷時の設定は「192.168.1.1」になります。ここが正しく設定されていないとインターネットには接続できません。

DNSサーバアドレス：
（Mac® OSでは「ネームサーバアドレス」と言います）
ご利用になっているプロバイダのDNSサーバアドレスを入力してください。
プロバイダによっては「デフォルトゲートウェイ」と同じIPアドレスを設定します。
判らないときはプロバイダにお問い合わせください。
ここが正しく設定されていないと「www.planex.co.jp」という名前（ドメイン名）でホームページにアクセスできなくなります。

Q. BBルータに接続しているコンピュータ同士の通信ができません。

A. pingを打って通信確認ができれば、BBルータの問題ではありません。OS側の設定の問題だと思われます。

インターネットへの接続は問題ないのに、コンピュータ同士のファイル共有等ができないという問い合わせも良く寄せられます。コンピュータ同士のLAN接続について、基本的にBBルータは関与しておりません。

BBルータの通信確認

コンピュータ同士が本当にアクセスできていないのか確認する方法として、106ページ「設定画面にアクセスできないのですが？」の中に、取得しているIPアドレスを確認する方法と、指定のIPアドレスにpingを打つ方法を紹介していますので、そちらを参考にそれぞれのコンピュータが取得しているIPアドレスを確認して、相手のコンピュータに対してpingを打ってみてください。
「Reply from・・・」が帰ってくればコンピュータ同士の接続は問題なくできていることになりますので、ファイル共有等ができないのはBBルータの問題ではなくOS側の設定の問題ということになります。

OS側の要因

pingの結果が「Request timed out」だったり、pingが通っても接続できない場合に考えられる一つの要因として、ファイヤウォールソフトの存在が挙げられます。ウイルスチェックソフトやインターネットセキュリティのソフトには、簡易ファイヤウォール機能を有している物があります。
使用しているコンピュータにそれらのソフトをインストールしている場合、ファイヤウォールが有効になっていると、たとえ自宅の中の同じネットワーク上のコンピュータであっても、ファイヤウォールから見ると第三者がそのコンピュータにアクセスしているように映るため、アクセスされないように遮断してしまいます。

該当するようなソフトを利用されている場合は、それらのソフトを停止させた状態で再度pingコマンドを打ち、通信状態を確認してみてください。
停止させるとpingが通るような場合は、それらソフトのファイヤウォールに他のコンピュータのIPアドレスを設定し、信頼するコンピュータとして認識させることで、ファイヤウォールを有効にしながらファイル共有ができるようになります。

Q. コンピュータの電源をOFFにしたのに、BBルータのLANのランプがついたままですが故障でしょうか？

A. 故障ではありません。「Wake On Lan」機能によるものです。

最近のLANアダプタには「Wake On Lan（以下WOL）」という、他のコンピュータから電源をON/OFF操作するための機能がついている物が多くなっています。
「WOL」に対応したLANアダプタでその機能が有効になっている場合、電源ONの信号を受信できるように待機状態になっている必要があるため、コンピュータ自体の電源はOFFになっていても、LANアダプタはBBルータのハブとLINKした（LANのランプが点灯した）状態になります。つまりBBルータ側で点灯の制御をする事は不可能であるという事になります。
消えるようにするには「WOL」の機能をOFFにする必要がありますので、ご使用のLANアダプタのメーカーか、あるいは標準でコンピュータに搭載されているLANアダプタの場合はコンピュータメーカーに機能を無効にする手順をお問い合わせください。

仕様

有線部（WAN 側）	
対応規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）
ポート数	1 ポート（AutoMDI/MDI-X 対応）
コネクタ形状	RJ-45 コネクタ
伝送速度	100Mbps
ネットワークケーブル	UTP/STP LAN ケーブル 10Mbps：カテゴリ 3 以上 100Mbps：カテゴリ 5 以上
有線部（LAN 側）	
対応規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）
ポート数	4 ポート（AutoMDI/MDI-X 対応）
コネクタ形状	RJ-45 コネクタ
伝送速度	100Mbps
ネットワークケーブル	UTP/STP LAN ケーブル 10Mbps：カテゴリ 3 以上 100Mbps：カテゴリ 5 以上
ルータ機能	
対応 WAN 回線	ADSL、FTTH、VDSL、CATV
WAN 設定	IP アドレス自動取得設定（DHCP クライアント） 固定 IP アドレス設定（手動設定） PPPoE クライアント設定 PPPoE IP 固定設定 PPPoE マルチセッション（最大 4 セッション） PPPoE ブリッジ 複数固定 IP 設定（Unnumbered 設定） MTU 設定
LAN 設定	固定 IP アドレス（手動設定） DHCP サーバ（有効 / 無効）
ルーティングプロトコル	RIPv1/v2
ルーティング方式	ダイナミックルーティング、スタティックルーティング
IPv6	ブリッジ設定（フレッツ・ドットネットに対応）
セキュリティ	SPI ファイアウォール（3 段階のセキュリティ設定） パケットフィルタリング サイトフィルタリング
アドレス変換	NAT、NAPT（IP マスカレード）
ローカルサーバ機能	ポートフォワード、仮想 DMZ
VPN パススルー	IPSec、PPTP パススルー対応
VPN ゲートウェイ	IPSec（最大 50 セッション）、PPTP サーバ（最大 32 セッション）、 PPTP クライアント
冗長化機能	VRRP（本製品 2 台間または BRC-W14VG 間）

UPnP	UPnP Forum Internet Gateway Device v1.0 準拠
ダイナミック DNS	DynDNS.org、DynamicDO!、MyDNS.JP
ハードウェア仕様	
LED	WAN（1）、PPPoE（1）、Link/Act（4）、100M（4）、Power（1）、Status（1）
本体電源電圧	DC5V
消費電力	最大 8.3W
外形寸法	30mm（W）× 200mm（H）× 150mm（D）
重量	485g（本体のみ）
動作時環境	温度：0 ～ 40℃ 湿度：35 ～ 80%（結露なきこと）
保存時環境	温度：-20 ～ 70℃ 湿度：5 ～ 90%（結露なきこと）
取得承認規格	CE、VCCI Class B
その他	
SNMP 機能	v1/v2 対応
USB 機能	USB2.0 × 2（タイプ A コネクタ） ファイルサーバ機能：NetBIOS 共有 USB プリントサーバ機能（双方向通信モード、WPS プリンタ、複合機の対応は不可） WEB サーバ機能（USB ストレージ使用時） WEB カメラサーバ機能（BRC-EE260 専用 USB カメラ使用）
ログ機能	セキュリティログ
システム診断機能	Ping、Traceroute
各種設定方法	WEB ブラウザ
保証期間	1 年間

（注意事項）
PPTP サーバの最大 32 セッションには、PPPoE のセッション数も含まれます。
プリントサーバ機能は Windows XP/2000 のみの対応です。
USB ストレージによる NAS 機能は Windows98SE/Me/2000/XP のみの対応です。
カメラサーバによる映像 / 画像の視聴には Windows Media Player の導入された PC が必要です。
カメラサーバによる画像を携帯電話から閲覧する際には、JPEG ブラウザ対応携帯電話が必要です。
また、一部、対応出来ない携帯電話もあります。
ファイルサーバ機能 /WEB サーバ機能をご利用の際、一部の USB ハードディスク、USB メモリはご利用になれない場合があります。
WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。
USB HUB 未対応です。
BRC-W14VG、BRC-EE260 は販売終了しております。

（Macintosh 対応状況）
本製品の USB プリントサーバ機能は Macintosh ではご利用になれません。
本製品の NAS 機能は Macintosh ではご利用になれません。

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ユーザー登録の際は、ホームページ掲載の「個人情報保護方針について」をご確認後、ユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPLANEX DIRECTまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PLANEX DIRECT〉
http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉
http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24時間
〈電話〉
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10～12時、13～17時
＊祝祭日および弊社指定の休業日を除く
〈FAX〉
ファクス番号：03-5766-1615
受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願い
サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。

・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）
・ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
・ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ
http://www.planex.co.jp/

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX：03-5766-1615

送信日：＿＿＿＿＿＿＿＿

会社名			
部署名			
名前			
電　話		ＦＡＸ	
E-MAIL			

製品名 Product name	セキュアストレージブロードバンドルータ
型番 Product No.	**BRC-14VG**
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② OS

OS		バージョン

③ 質問内容